### **EPSON**

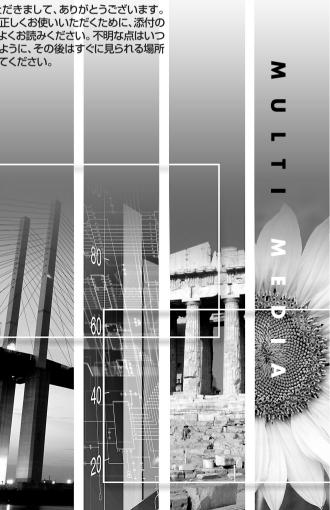
マルチメディア・プロジェクター PROJECTOR

# **ELP-735**

## 取扱説明書

#### お使いになる前に

お買い上げいただきまして、ありがとうございます。 本製品を安全に正しくお使いいただくために、添付の マニュアル類をよくお読みください。不明な点はいつ でも解決できるように、その後はすぐに見られる場所 に大切に保存してください。



### 説明書中の表示の意味

#### ■安全に関する表示

取扱説明書および製品には、製品を安全に正しくお使いいただき、お客様や他の人への危害や 財産への損害を未然に防止するために、絵表示が使われています。

その表示と意味は次のとおりです。内容をよくご理解いただいた上で本文をお読みください。

| △警告 | この表示を無視して誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。                        |
|-----|---|
| △注意 | この表示を無視して誤った取り扱いをすると、人が傷害を負う可能性が<br>想定される内容および物的損害のみの発生が想定される内容を示してい<br>ます。 |

#### ■一般情報に関する表示

| 注意   | 本機の故障や損傷の原因になるおそれがある内容を示しています。                              |
|--|---|
| 関連する情報や知っておくと便利な情報を記載しています。                    |   |
|  |   |
| <b>*</b>                                       | マークの前のアンダーラインの引かれた用語は、用語解説で説明しています。「付録 用語解説」をご覧ください。 ← p.88 |
| 操作   | 操作方法や作業の順番を示しています。<br>番号順に操作して目的の作業を行ってください。                |
| [ (ボタン名) ] 操作パネルまたはリモコンのボタンを示しています。<br>例: [戻る] |   |
| 「 (メニュー名) 」                                    | 環境設定メニューの項目を示しています。<br>例:「映像」-「明るさ」                         |

#### ■「本機」または「本プロジェクター」という表記について

本書の中に出てくる「本機」または「本プロジェクター」という表記には、プロジェクター本体のほかに同梱品や別売品も含まれる場合があります。

### 本機の特長

### 自動台形補正機能

本機の上下方向の傾きを感知し、自動的に投写映像が台形にゆがむのを補正し ます。 🖝 p. 32

### 自動セットアップ機能

コンピュータ映像を投写するときに、接続されたコンピュータの信号を判断し、 自動的に最適な投写状態になるように調整します。何人かでプレゼンテーショ ンを行う場合も、コンピュータを接続し直すだけで、最適な状態で投写されま す。個別に手動での調整も可能です。

接続方法 🖝 p. 14. 自動セットアップ 🖝 p. 35

#### カラーモード機能 )



あらかじめ登録されている次の6つの設定から、使用シーンに応じて画質を選択 するだけで最適な映像を投写できます。面倒なカラー調整は不要です。

- **p**, 38, 45, 46
- sRGB▶▶

- ・ノーマル ・ミーティング
- プレゼンテーション ・シアター ・ゲーム

### EasyMP機能)



コンピュータと無線でネットワーク接続し、ワイヤレスでコンピュータの映像 を投写できます(Network Screen機能)。☞『EasyMPセットアップガイド』 メモリカード内にプレゼンテーション用のファイルを保存しておけば、コン ピュータなしでプレゼンテーションできます(CardPlayer機能)。

 ■ 『EasyMP 活用ガイド』



B5 ファイルサイズ (奥行き 19×幅 27.6×高さ 7cm), 軽量 (約1.9kg) なコンパ クトボディーで、持ち運びも楽々。

#### 美しく鮮明な映像)





小型ながら、高解像度、高輝度による見やすい画面を実現。明るい場所でも、美 しく鮮やかな映像を写し出せます。

#### 操作が簡単



付属のリモコンを使い、投写映像を停止する(静止機能 **p**.41)、大切な部分を ズームアップする(E ズーム機能 p.43) などの操作ができます。

# 目次

| 本機の特長             | 1  |
|-------------------|----|
| 使い始めるまでの準備        |    |
|                   |    |
| 前面 / 上面           |    |
| 本体操作パネル           |    |
| 背面                |    |
| 底面                |    |
| リモコン              |    |
| リモコンをお使いになる前に     |    |
| リモコンの使い方と操作範囲     |    |
| 本機の設置             |    |
| 設置方法              | 12 |
| スクリーンサイズと投写距離     | 13 |
| コンピュータとの接続        | 14 |
| 接続できるコンピュータ       | 14 |
| コンピュータの映像を写す      | 15 |
| コンピュータの音声を出す      |    |
| リモコンでマウスポインタを操作する |    |
| (ワイヤレスマウス機能)      |    |
| ビデオ機器との接続         |    |
| コンポジットビデオの映像を写す   |    |
| S-ビデオの映像を写す       |    |
| コンポーネントビデオの映像を写す  |    |
| BS デジタルチューナの映像を写す |    |
| ビデオ機器の音声を出す       |    |
| 基本操作編             |    |
| 電源を入れ投写しよう        | 26 |
| 電源ケーブルを接続しよう      |    |
| 電源 ON、投写開始        |    |
| 電源を切り終了しよう        | 29 |
| 投写画面を調整しよう        | 31 |
| 投写サイズの微調整         |    |
| ピントを合わせる          |    |
| 投写角度の調整と自動台形補正機能  | 32 |
| 台形にゆがむ場合の手動補正     |    |
| 画質の調整をしよう         |    |

|     | コンピュータ映像の調整                                 | 35 |
|-----|---|----|
|     | 映り具合を選ぶ (カラーモード選択)                          | 38 |
| 応月  | 用編  |    |
|     | 投写を効果的にする機能                                 | 40 |
|     | ミュート機能                                      | 40 |
|     | 静止機能  | 41 |
|     | ビデオ機器の映像投写時に、ワイドサイズの映像を写す                   |    |
|     | (アスペクト比の切り替え)                               |    |
|     | E ズーム機能                                     |    |
|     | 環境設定メニューの機能と操作                              |    |
|     | 機能一覧  |    |
|     | 環境設定メニューの操作                                 | 55 |
| 困 - | ったときに                                       |    |
|     | ヘルプの見方                                      | 58 |
|     | 故障かなと思ったら                                   | 59 |
|     | 電源インジケータ                                    | 59 |
|     | ( 異常 / 警告 ) インジケータ                          | 60 |
|     | インジケータを見てもわからないとき                           | 62 |
|     | ネットワークのトラブル                                 | 69 |
| 付   | 録   |    |
|     | お手入れの方法・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ | 78 |
|     | 各部の掃除                                       | 78 |
|     | 消耗品の交換                                      | 80 |
|     | ユーザーロゴの登録                                   | 85 |
|     | オプション品一覧                                    | 87 |
|     | 用語解説  | 88 |
|     | ESC/VP21 コマンド一覧                             | 90 |
|     | コマンドリスト                                     | 90 |
|     | USB 通信の準備                                   |    |
|     | 対応解像度一覧                                     |    |
|     | 仕様一覧  |    |
|     | 外形寸法図                                       |    |
|     | 索引  | 97 |
|     |   |    |



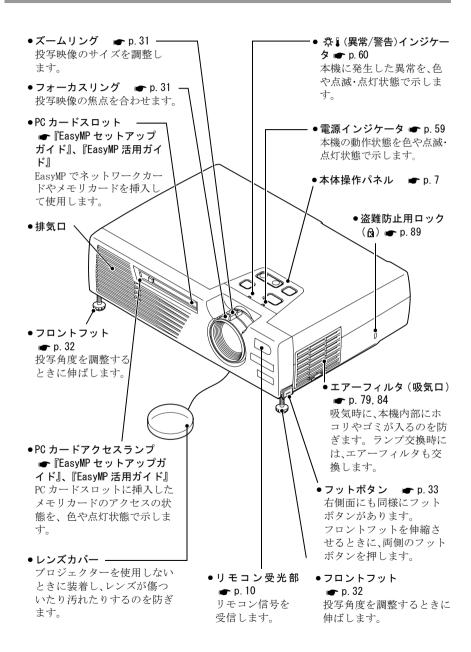
# 使い始めるまでの準備

この章では、開梱後、本機を設置し、使い始めるまでの作業について説明しています。

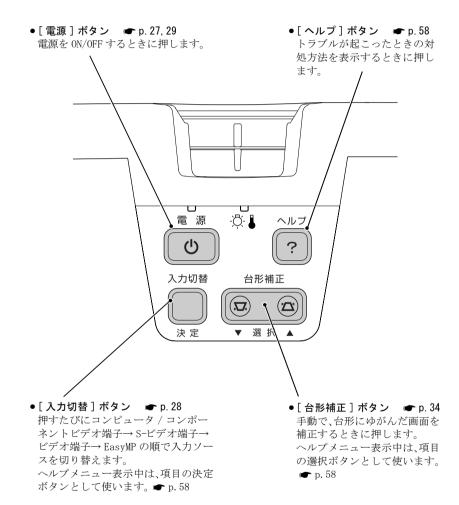
| 各部の名称と働き  | 6  |
|---|----|
| ● 前面 / 上面                                       | 6  |
| ● 本体操作パネル                                       | 7  |
| ● 背面  |    |
| ● 底面  |    |
| ● リモコン  |    |
| リモコンをお使いになる前に                                   | 10 |
| ● リモコンの使い方と操作範囲                                 | 10 |
| 本機の設置   | 12 |
| ● 設置方法  | 12 |
| ● スクリーンサイズと投写距離                                 |    |
| コンピュータとの接続                                      | 14 |
| ● 接続できるコンピュータ                                   | 14 |
| ● コンピュータの映像を写す                                  |    |
| ・モニター端子がミニ D-Sub 15pin 端子の場合                    |    |
| ・モニター端子が 5BNC 端子の場合                             |    |
| ・モニター端子が 13w3 端子の場合                             |    |
| ● コンピュータの音声を出す                                  |    |
| <ul><li>リモコンでマウスポインタを操作する(ワイヤレスマウス機能)</li></ul> |    |
| ビデオ機器との接続                                       | 21 |
| ● コンポジットビデオの映像を写す                               | 21 |
| ● S-ビデオの映像を写す                                   |    |
| ● コンポーネントビデオの映像を写す                              |    |
| ● BS デジタルチューナの映像を写す                             |    |
| ● ビデオ機器の音声を出す                                   | 24 |

### 各部の名称と働き

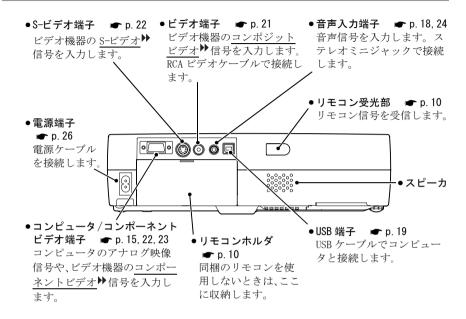
#### 前面/上面



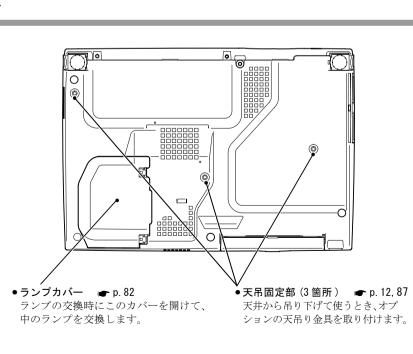
#### 本体操作パネル



#### 背面



#### 底面



#### リモコン

**p**. 19

ワイヤレスマウス使用時の PowerPoint ファイルや、

EasyMP の CardPlayer 使用時 のシナリオのページ送り / 戻 しができます。

●入力切替ボタン **☞** p. 28 [PC/EasyMP]: コンピュータ / コンポーネントビデオ端 子からの映像または EasyMP の画面に切り替えます。 「S-ビデオ / ビデオ ]: S-ビ デオ端子またはビデオ端子 からの映像に切り替えます。

● 「メニュー 〕 ボタン・ **p**. 55

環境設定メニューを 表示 / 終了します。

●「ミュート」ボタン **p.** 40

映像と音声を一時的に消 します。

[E ズーム]ボタン(⊖) **p**. 43

[ ● ] ボタンで拡大した 結果を縮小します。

●[▲][▼][◄][▶] ボタン **p**. 20, 55, 58

ワイヤレスマウスとして 使用しているときは、ボタ ンを押すと各ボタンに対 応した方向にポインタが 移動します。

環境設定メニューやヘル プが表示されているとき は、メニュー項目や設定値 の選択を行います。

EasyMP が表示されている ときは、各ボタンに対応 した方向にカーソルが移 動し、設定項目、設定値、 メニュー項目、ボタン、 ファイル、フォルダの選 択を行います。

●[ページ送り][ページ戻し] ●リモコン発光部 **☞** p. 11 リモコン信号を出力します。

ジ送り

**%-**ジ戻し 電源

 $\blacksquare$ PC/Ea>v MP S-ビデオ/ビデオ カラーモード ,● [静止]ボタン 🖝 p. 41 メニュー ミュート 静止 Ш Fズ<del>ー</del>ム  $\oplus$ 決定

**EPSON** 

● [自動調整] ボタン ● p. 35 自動セットアップが OFF に 設定されているときに、コ ンピュータ映像を自動調整 し、最適化します。

自動調整

● 「 雷源 ] ボタン **p**. 27, 29 プロジェクターの電源を ON/OFF します。

●「カラーモード」ボタン **p**. 38

カラーモードを切り替えま す。押すたびに、ノーマル →ミーティング→プレゼン テーション→シアター→ ゲーム→ sRGB▶の順で切 り替わります。

映像を一時停止します。

,● [E ズーム ] ボタン(⊕) **p**. 43 投写サイズは変えずに 映像を拡大します。

● [決定]ボタン **p**. 20, 55, 58

環境設定メニューやヘル プの項目を決定したり、1 つ下の階層に進みます。 ワイヤレスマウスとして 使用するときは、マウスの 左クリックとして機能し ます。EasvMP が表示され ているときは、メニュー 項目やボタンの実行、設 定項目や設定値の決定、 シナリオのページ送り、 ファイルやフォルダの Easv メニュー表示(クイ ックモードの場合は再生) を行います。

● [ 戻る ] ボタン 🖝 p. 20, 56 実行中の機能を終了します。環 境設定メニュー表示時には1つ 上の階層に戻ります。 ワイヤレスマウスとして使用す るときは、マウスの右クリック として機能します。EasyMPが 表示されているときは、設定の 終了や中止、シナリオ再生の終 了、ネットワーク接続の切断、 クイックモードの場合はファイ ルやフォルダの Easy メニュー 表示を行います。

### リモコンをお使いになる前に

#### リモコンの使い方と操作範囲

初めてお使いになるときは、電池ホルダから出ている絶縁テープを引き抜いてください。 絶縁テープを引き抜くと、リモコンが使えるようになります。



#### 使い方

リモコンの使い方は次のとおりです。

#### 操作

リモコンの発光部をプロジェクターのリモコン受光部に向けて操作します。





- プロジェクターのリモコン受光部に直射日光や蛍光灯の光などが直接 当たらないようにしてください。リモコンからの信号を受信できない ことがあります。
- 使い続けているうちに、リモコンの反応が遅くなったり、操作できなく なった場合は電池の寿命が考えられます。新しい電池と交換してくだ さい。 **☞** p.80
- リモコンを使わないときは、リモコンの紛失を防ぐために本体背面の リモコンホルダに収納してください。

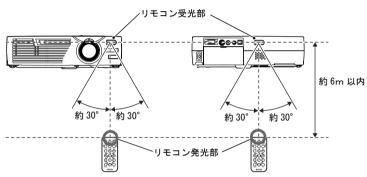


#### 操作範囲

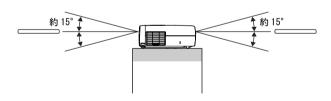
リモコンで操作する場合は、次の範囲でお使いください。 受光部との距離や角度が操作可能範囲を外れると、リモコン操作が働きません。

| 操作可能距離 | 操作可能範囲             |  |  |
|--------|--------------------|--|--|
| 約 6m   | 左右約 30°<br>上下約 15° |  |  |

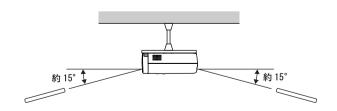
#### 左右約 30°



#### 上下約 15°



#### 天吊りの場合



### 本機の設置

#### 設置方法

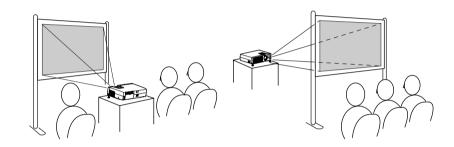
本機の投写方法は、次の4種類があります。 設置場所の条件に合わせて設置して ください。



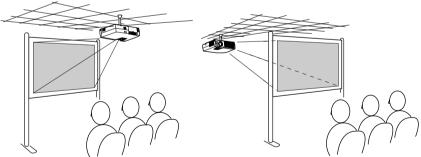
設置にあたっては、別冊の『安全にお使いいただくために / サポートとサービスのご案内』を必ずお読みください。

• 正面から投写する

• リアスクリーンへ裏側から投写する



- 天吊りして正面から投写する
- 天吊りしてリアスクリーンへ裏側 から投写する



※天吊り用の取り付けは特別な技術が必要です。天吊りで使用する場合は販売店にご相談ください。天吊りするには、オプションの天吊り金具が必要です。 p.87



天吊りやスクリーンの裏側から投写するときは、環境設定メニューの「高度な設定」-「上下反転」、「リア」を設置の状態に合わせて変更します。

**p**. 51

#### スクリーンサイズと投写距離

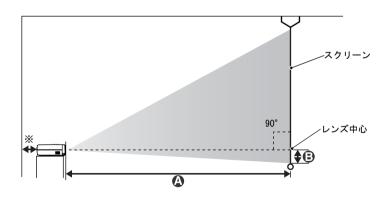
本機のレンズからスクリーンまでの距離により投写画面サイズが異なります。

推奨距離範囲 1.0m ~ 11.7m

下表を参考にして、スクリーンに映像が最適な大きさで写るように設置してください。

値は、設置の目安にしてください。 投写条件やズームの設定により、変わります。

| 4:3 スクリーンサイズ<br>(cm) | 投写距離(A) (m)      | レンズ中心からスクリー<br>ン下端までの高さ <b>⑤</b> (cm) |
|----------------------|------------------|---------------------------------------|
| 30型 (61×46)          | 1.0 ~ 1.1        | 4.6                                   |
| 40型 (81×61)          | 1.3 ~ 1.5        | 6. 1                                  |
| 60型 (120×90)         | $2.0 \sim 2.3$   | 9. 1                                  |
| 80型 (160×120)        | $2.7 \sim 3.1$   | 12. 2                                 |
| 100型 (200×150)       | $3.3 \sim 3.9$   | 15. 2                                 |
| 200型 (410×300)       | $6.7 \sim 7.8$   | 30. 5                                 |
| 300型 (610 × 460)     | $10.1 \sim 11.7$ | 45. 7                                 |



※壁際に設置する場合は、壁から 20cm 以上の間隔をあけてください。



- 本機のレンズは約1.16 倍ズームです。最大拡大時は、最小時の約1.16 倍のサイズで投写できます。
- 台形補正をすると、画面サイズは小さくなります。

### コンピュータとの接続



コンピュータを接続する際は、次の点を確認してください。

- 接続する前に本機とコンピュータの電源を切ってください。電源が入った状態で接続すると、故障の原因になります。
- ケーブルのコネクタ形状と端子の形状を確認して接続してください。 向きや形状が異なっているものを無理に押し込むと故障や機器の破損 の原因になります。

#### 接続できるコンピュータ

コンピュータによっては接続できないものや、接続できても投写できないものがあります。以下の、接続できるコンピュータの条件と照らし合わせて確認してください。

• 条件 1:接続するコンピュータに映像信号の出力端子があること コンピュータに「RGB端子」「モニター端子」「CRT端子」などの映像信号を出力さ せる端子があることを確認してください。

コンピュータとモニターが一体型のタイプやノートパソコンなどの場合は、接続できなかったり外部出力端子を別途購入する必要があるものがあります。詳しくは、コンピュータの取扱説明書の「外付けのモニターを接続する」などの項目をご覧ください。

条件2:接続するコンピュータの解像度と周波数が「対応解像度一覧」の範囲内であること「付録対応解像度一覧」(●p.92)

コンピュータによっては出力解像度を変更できますので、コンピュータの取扱説明書をご覧になり対応解像度一覧の範囲内の設定に変更してください。



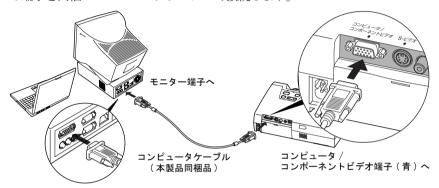
- コンピュータの端子形状によっては、接続の際に市販のアダプタ類などが必要になることがあります。詳しくはコンピュータの取扱説明書をご覧ください。

#### コンピュータの映像を写す

コンピュータのモニター端子の形状や規格により、使用するケーブルが異なります。お使いになるコンピュータに合わせて、以降の内容をお読みください。

#### ■モニター端子がミニD-Sub 15pin端子の場合

コンピュータのモニター端子と、本機背面のコンピュータ/コンポーネントビデオ端子を同梱のコンピュータケーブルで接続します。



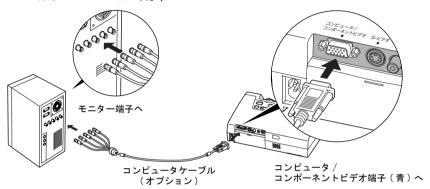


- 投写開始後は、環境設定メニューの「映像」-「入力信号」で「コンピュータ」に設定します。 p. 45
- 本機に複数の機器を同時に接続して使用する場合は、投写開始後、投写映像の右上に「コンピュータ」と表示されるまで本体の[入力切替]ボタン、またはリモコンの [PC/EasyMP] ボタンを繰り返し押してください。 p. 28
- 電源ケーブルとコンピュータケーブルは一緒に結束しないでください。映像にノイズが現れたり、誤動作の原因になります。

#### ■モニター端子が 5BNC→端子の場合

コンピュータのモニター端子と、本機背面のコンピュータ/コンポーネントビデオ端子をオプションのコンピュータケーブルで接続します。

☞ 「付録 オプション品一覧」p.87



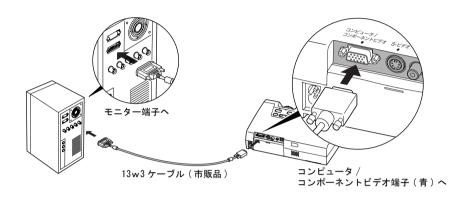


- 電源ケーブルとコンピュータケーブルは一緒に結束しないでください。映像にノイズが現れたり、誤動作の原因になります。

#### **■**モニター端子が 13w3 端子の場合

ワークステーション対応のコンピュータでは、モニター端子が13w3端子の場合があります。

コンピュータのモニター端子と本機背面のコンピュータ / コンポーネントビデオ端子を市販の 13w3 ⇔ D-Sub15 ケーブルで接続します。



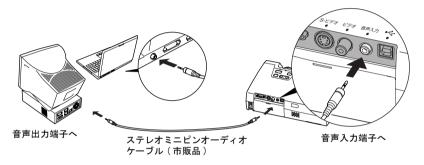


- 本機に複数の機器を同時に接続して使用する場合は、投写開始後、投写 映像の右上に「コンピュータ」と表示されるまで本体の[入力切替] ボタン、またはリモコンの [PC/EasyMP] ボタンを繰り返し押してください。
- 電源ケーブルとコンピュータケーブルは一緒に結束しないでください。映像にノイズが現れたり、誤動作の原因になります。
- ワークステーションによっては、専用ケーブルが必要な場合があります。詳しくは、お使いのワークステーションのメーカーに確認してください。

#### コンピュータの音声を出す

本機には、最大 1W のスピーカが 1 個内蔵されています。 音声出力端子を持つコンピュータの音声を本機の内蔵スピーカから出力させるには、コンピュータの音声出力端子と本機背面の音声入力端子 (ステレオミニジャック)を、市販の次のいずれかのオーディオケーブルで接続します。

- 3.5 a ステレオミニピンオーディオケーブル
- 2RCA(L・R)/ステレオミニピンオーディオケーブル(抵抗なし)

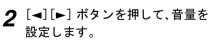


音量を調整するには、以下のように環境設定メニューで行います。

#### 操作

**1** リモコンの [メニュー] ボタンを押し、環境設定メニューから「音声」 - 「音量」を選びます。

操作の詳細は、「環境設定メニューの 操作」をご覧ください。 ← p. 55



ボタンを押すたびに、音量が増減します。



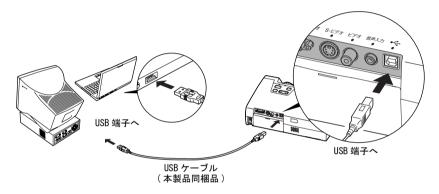


**3** 設定が終了したら [メニュー] ボタンを押して環境設定メニューを終了します。

#### リモコンでマウスポインタを操作する(ワイヤレスマウス機能)

コンピュータの <u>USB</u> 端子と、本機背面の USB 端子を同梱の USB ケーブルで接続すると、ワイヤレスマウスのように、同梱のリモコンでコンピュータのマウスポインタを操作できます。

| 対応コンピュータ   | マウスの種類 | 使用するケーブル         |
|--|--------|------------------|
| Windows 98/2000/Me/<br>XP Home Edition/<br>XP Professional | USBマウス | USB ケーブル ( 同梱品 ) |
| Macintosh<br>(OS 8.6 ~ 9.2/X/10.1)                         | USBマウス | USB ケーブル(同梱品)    |



※ワイヤレスマウスとして使用しているときは、リモコンの[ページ送り] 「ページ戻し]ボタンで、PowerPointファイルのページ送り/戻しができます。

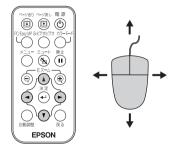


- USB ケーブルでの接続は、USB 標準搭載モデルにのみ対応しています。 Windows の場合は、Windows98/2000/Me/XP Home Edition/XP Professional プリインストールモデルだけに対応しています。アップグレードした Windows98/2000/Me/XP Home Edition/XP Professional 環境下では動作を保証いたしません。
- Windows/MacintoshともにOSのバージョンによりワイヤレスマウス機能を使用できない場合があります。
- マウスを使用するために、コンピュータ側の設定が必要な場合があります。詳しくはコンピュータの取扱説明書をご覧ください。

接続した後はマウスポインタを次のように操作できます。

#### マウスポインタの移動

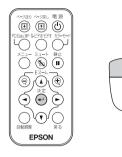
リモコンの [A][V][V][V] ボタンを押すと、押した方向にマウスポインタが移動します。



#### 左クリック

[決定] ボタンを押します。

すばやく2回続けて押すと、ダブルクリックになります。



#### 右クリック

[ 戻る] ボタンを押します。

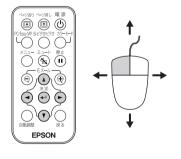




#### ドラッグ&ドロップ

[決定]ボタンを押したまま、[▲][▼]

[◀][▶] ボタンを押すと、ドラッグの動作になります。任意の場所で[決定]ボタンを離すと、ドロップします。





- コンピュータでマウスボタンの左右を逆に設定している場合は、リモコンでの操作も逆になります。
- EasyMP、環境設定メニュー、ヘルプの表示中、またはEズーム機能の使用中には、ワイヤレスマウス機能は使用できません。

### ビデオ機器との接続

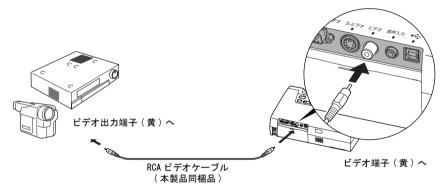


ビデオ機器を接続する際は、次の点に注意してください。

- 接続する前に本機とビデオ機器の電源を切ってください。電源が入った状態で接続すると、故障の原因になります。
- ケーブルのコネクタ形状と端子の形状を確認して接続してください。 向きや形状が異なっているものを無理に押し込むと故障や機器の破損 の原因になります。

#### コンポジットビデオの映像を写す

ビデオ機器と、本機背面のビデオ端子を同梱の RCA ビデオケーブルで接続します。



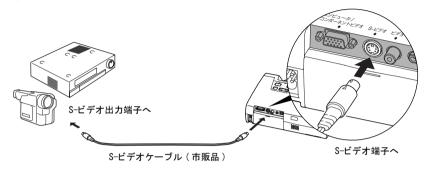


本機に複数の機器を同時に接続して使用する場合は、投写開始後、投写映像の右上に「ビデオ」と表示されるまで本体の[入力切替]ボタン、またはリモコンの[S-ビデオ/ビデオ]ボタンを繰り返し押してください。

**p**. 28

#### S-ビデオの映像を写す

ビデオ機器と本機背面の S-ビデオ端子を市販の S-ビデオケーブルで接続します。

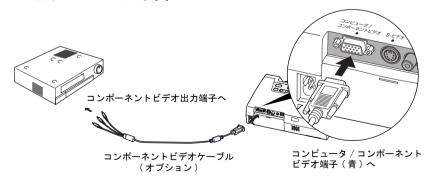




#### コンポーネントビデオの映像を写す

ビデオ機器と本機背面のコンピュータ / コンポーネントビデオ端子をオプションのコンポーネントビデオケーブルで接続します。

●「付録 オプション品一覧」p. 87



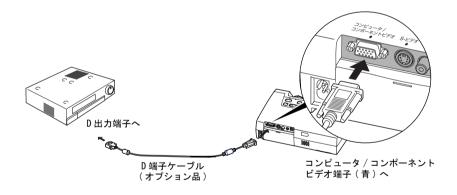


- 投写開始後は、環境設定メニューの「映像」-「入力信号」で機器の信号に合わせて「コンポーネントビデオ(YCbCr<sup>▶</sup>)」、または「コンポーネントビデオ(YPbPr<sup>▶</sup>)」に設定します。
- 本機に複数の機器を同時に接続して使用する場合は、投写開始後、機器の信号に応じて「コンポーネントビデオ (YCbCr)」または「コンポーネントビデオ (YPbPr)」と投写映像の右上に表示されるまで本体の[入力切替] ボタン、またはリモコンの [PC/EasyMP] ボタンを繰り返し押してください。

#### BS デジタルチューナの映像を写す

BS デジタルチューナと本機背面のコンピュータ / コンポーネントビデオ端子をオプションの D 端子ケーブルで接続します。

☞「付録 オプション品一覧」p.87



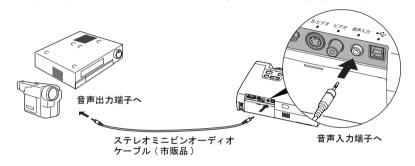


- 投写開始後は、環境設定メニューの「映像」-「入力信号」で「コンポーネントビデオ (YPbPr<sup>▶</sup>)」に設定します。
- 本機に複数の機器を同時に接続して使用する場合は、投写開始後、投写映像の右上に「コンポーネントビデオ (YPbPr)」と表示されるまで本体の[入力切替] ボタン、またはリモコンの [PC/EasyMP] ボタンを繰り返し押してください。
- BS デジタルチューナへの接続は、日本国内でのみ可能です。
- D4 規格までのBS デジタルチューナに対応しています。

#### ビデオ機器の音声を出す

本機には、最大 1W のスピーカが 1 個内蔵されています。 ビデオ機器の音声を本機の内蔵スピーカから出力させるには、ビデオ機器の音声出力端子と本機背面の音声入力端子(ステレオミニジャック)を、市販の次のいずれかのオーディオケーブルで接続します。

- 3.5 a ステレオミニピンオーディオケーブル
- 2RCA(L・R)/ステレオミニピンオーディオケーブル(抵抗なし)

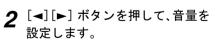


音量を調整するには、以下の操作を行ってください。

#### 操作

**1** リモコンの [メニュー] ボタンを押し、環境設定メニューから「音声」 - 「音量」を選びます。

操作の詳細は、「環境設定メニューの 操作」をご覧ください。 ◆p.55



ボタンを押すたびに、音量が増減します。





**3** 設定が終了したら [メニュー] ボタンを押して環境設定メニューを終了します。



# 基本操作編

ここでは、投写開始と終了、投写映像の調整など基本的な機能について説明しています。

| 電源を入れ投写しよう                             | 26   |
|--|------|
| ● 電源ケーブルを接続しよう                         | . 26 |
| ● 電源 ON、投写開始                           | . 27 |
| 電源を切り終了しよう                             | 29   |
| ,, , , , , , , , , , , , , , , , , , , |      |
| ● 投写サイズの微調整                            | . 31 |
| <ul><li>ピントを合わせる</li></ul>             | . 31 |
| ● 投写角度の調整と自動台形補正機能                     |      |
| ● 台形にゆがむ場合の手動補正                        | . 34 |
| 画質の調整をしよう                              | 35   |
| ● コンピュータ映像の調整                          |      |
| ・自動セットアップ                              | . 35 |
| ・トラッキングの調整                             | . 36 |
| ・同期の調整                                 | . 37 |
| ● 映り具合を選ぶ(カラーモード選択)                    | . 38 |

### 電源を入れ投写しよう

電源を入れ、投写を行います。



投写する前に、別冊の『安全にお使いいただくために/サポートとサービスのご案内』を必ずお読みください。

#### 電源ケーブルを接続しよう

#### 操作

- **1** 本機と本機に接続するすべての機器の電源が切ってあることを確認します。
- **2** 本機とコンピュータあるいはビデオ機器を接続します。 **●** p. 15, 21
- **3** レンズカバーを外します。 レンズカバー上部に指をかけて取り外します。
- **4** 本機に、同梱の電源ケーブルを取り付けます。

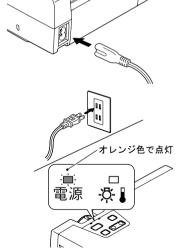
本機の電源端子と、電源コネクタの形状を確認し、しつかりと奥まで差し込みます。

**5** 電源プラグをコンセントに差し込みます。

電源インジケータがオレンジ色の点灯に 変わるまで待ちます。



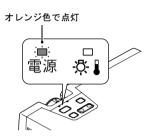
電源インジケータがオレンジ色に点滅しているときは、リモコンや操作パネルのボタン操作は無効となります。



#### 電源 ON、投写開始

#### 操作

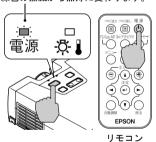
**1** 電源インジケータがオレンジ色で点灯しているのを確認します。



- **2** 本機に接続されている機器の電源を入れます。 ビデオ機器の場合は、さらにビデオ機器の[再生]や[プレイ]ボタンを押 します。
- **3** 本体、またはリモコンの[電源]ボタンを 緑色の点滅から点灯に変わります。 押して電源を入れます。

電源インジケータが緑色の点滅に変わり ます。しばらくするとランプが点灯し投 写が始まります。

電源インジケータが緑色の点灯に変わる まで待ちます(約40秒かかります)。



(Va

- 電源インジケータが緑色で点滅しているときは、操作パネルやリモコンの[電源]ボタン操作は無効となります。
- **ポイント** 環境設定メニューの設定によっては、「映像信号が入力されていません。」と表示されます。 「設定」-「ノーシグナル表示」p. 49

**4** 複数の機器を接続している場合は、下表を参照し、本体またはリモコンのボタンで目的の機器が接続されている端子を選択します。



| 接続端子                       | 選択す                            | るボタン           | 画面右上の表示  |  |
|----------------------------|--------------------------------|----------------|--|--|
| 1女心地丁                      | 本体 リモコン                        |                | 四国石工の衣小  |  |
| コンピュータ /<br>コンポーネント<br>ビデオ | [入力切替]を押すたびに映像<br>ソースが切り替わります。 | [PC/EasyMP]    | コンピュータ <sup>※</sup><br><u>コンポーネントビデオ</u> ( <u>YCbCr</u> ) <sup>※</sup><br>コンポーネントビデオ ( <u>YPbPr</u> ) <sup>※</sup><br>EasyMP |  |
| <u>S-ビデオ</u> ▶             |                                | [S-ビデオ / ビデオ ] | S-ビデオ  |  |
| ビデオ                        |                                |                | ビデオ  |  |

※環境設定メニューの「映像」-「入力信号」で設定されているものが表示されます。

EasyMP に切り替えた場合は『EasyMP セットアップガイド』、『EasyMP 活用ガイド』をご覧ください。



- 接続機器が1台だけの場合は、ボタンを押さなくても投写されます。
- ●「映像信号が入力されていません。」と表示されたままの場合は、接続をもう一度確認してください。
- ノートタイプや液晶一体型のコンピュータを接続したときには、映像 が投写されないことがあります。接続後にコンピュータの信号を外部 に出力させる設定をコンピュータ側で行ってください。

下表は、出力切り替えの一例です。詳しくはコンピュータの取扱説明書の「外部出力のしかた」や「外部モニターへの出力」などの項をご覧ください。

| NEC 製     | Panasonic 製 | 東芝製       | IBM 製     | SONY 製    | 富士通 | Macintosh   |
|-----------|-------------|-----------|-----------|-----------|-----|---|
| [Fn]+[F3] | [Fn]+[F3]   | [Fn]+[F5] | [Fn]+[F7] | [Fn]+[F7] |     | 再起動した後、<br>コントロールパ<br>ネルの調整でミ<br>ラーリングの設<br>定にする。 |

● 同一の静止映像を長時間投写していると、投写映像に残像が残ることがありますので、静止映像は長時間投写しないでください。

### 電源を切り終了しよう

投写を終了するには、次の手順で行います。

#### 操作

- **1** 本機に接続している機器の電源を OFF にします。 すべての接続機器の電源が切れていることを確認します。
- **2** 本体、またはリモコンの[電源]ボタンを押します。

次の確認のメッセージが表示されます。





電源を切りたくないときは、[電源]、[ページ送り]、[ページ戻し]ボタン以外のボタンを押します。

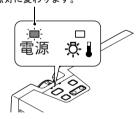
何も操作しないと、7秒後に自動的にメッセージが消えます(電源は切れません)。

**3** もう一度[電源]ボタンを押します。 ランプが消灯します。電源インジケータ がオレンジ色に点滅し、<u>クールダウン</u>♪が 始まります。

クールダウンの時間は約 45 秒です (外気温などによって変わります)。

クールダウンが終了すると、電源インジケータがオレンジ色の点灯に変わります。

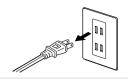
オレンジ色で点滅した後、 点灯に変わります。





電源インジケータがオレンジ色に点滅しているときは、リモコン、または操作パネルのボタン操作は無効になります。点灯に変わるまでお待ちください。

**4** 電源ケーブルのプラグをコンセントから抜きます。



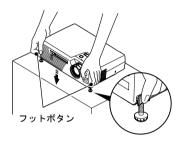
(**!**)

電源インジケータがオレンジ色に点滅しているときは、電源プラグをコンセントから抜かないでください。故障の原因になったり、ランプの交換時期が早くなります。

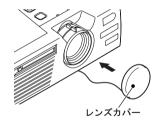
**5** フロントフットが出ているときは、元の高さに戻します。

両側のフットボタンを両方とも押したまま、本機をゆっくりと降ろします。

電源を切った直後は、本機が熱くなって いますので注意してください。



**6** レンズカバーを取り付けます。 レンズにホコリや汚れが付着するのを防 ぐために、使用しないときはレンズカバー を取り付けます。



### 投写画面を調整しよう

投写画面の補正や各種調整を行い、最適な投写状態にします。

#### 投写サイズの微調整

基本的に投写サイズは、スクリーンから本機の設置位置までの距離で合わせます。 **● p.** 13

ここでは、その後に行う調整の方法を説明します。



一部分を拡大する E ズーム機能もあります。 **●** p. 43

#### 操作

本体のズームリングを回して調整します。

1.16 倍まで拡大できます。

さらに拡大したいときは、投写距離で調整 します。 p. 13



#### ピントを合わせる

#### 操作

フォーカスリングを回して調整します。

本体のフォーカスリングを回してピントを合わせます。



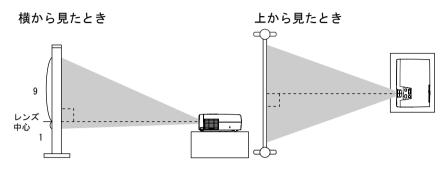
フォーカスリング



- レンズが汚れているときや結露して曇っているときはピントが合いません。汚れや曇りを取り除いてください。 p. 64, 78
- 設置距離が1.0~11.7mからはずれると、ピントが合いません。設置距離を確認してください。

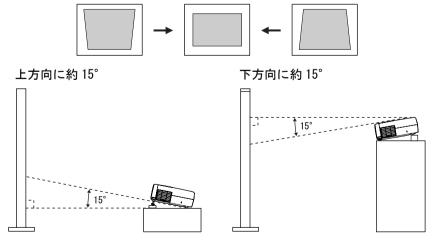
#### 投写角度の調整と自動台形補正機能

プロジェクターは、できるだけスクリーンと直角になるように設置してください。



スクリーンに対して直角に設置できない場合は、上下方向に対しては本機を傾けて設置できます。フロントフットの伸縮を調節することで、上方向に最大傾斜角度 11° までの範囲で投写角度を調整できます。

本機を上下方向に傾けて投写すると、画面は台形にゆがみます。しかし、本機には、画面のゆがみを自動的に補正する「自動台形補正機能」が備わっており、上下に約  $15^{\circ}$  ※までの傾きであれば、自動的にゆがみのない映像に補正します。自動台形補正は、電源を入れてある状態で本機を設置して約 1 秒後に行われます。



※ズームリングを最も「T」側に設定したときの値です。ズームリングを「W」側に調整するほど、対応できる傾斜角度の値は小さくなります。



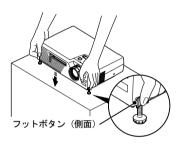
- 環境設定メニューの「高度な設定」-「リア」、または「上下反転」が 「ON」のときは自動台形補正は行われません。
- 自動台形補正が行われたあと、さらに微調節したい場合は本体操作パネルの[台形補正]ボタンを押して補正を行うことができます。
- 台形補正をすると画面が小さくなります。
- 自動台形補正が不要な場合は、環境設定メニューの「設定」-「自動台 形補正」を「OFF」に設定してください。 ● p.49

#### 操作

両側のフットボタンを両方とも押したまま、 本機前面を持ち上げると、フロントフットが 伸びます。

投写したい角度になるまでフロントフットを 伸ばし、フットボタンを離します。

フロントフットを収納するには、フットボタン を押したまま、本機をゆっくり降ろします。





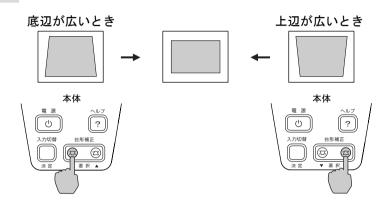
本機が水平方向に傾いているときは、左右のフロントフットの接地部を 回して、高さを微調整してください。



#### 台形にゆがむ場合の手動補正

本機は、投写時に上下の傾きを検知し、自動的に台形補正を行う「自動台形補正機能」を備えています。 自動台形補正の結果に、さらに微調整を行いたい場合は、操作パネルの「台形補正」ボタンを押して調整します。

#### 操作





- 台形補正をすると画面が小さくなります。
- 台形補正は環境設定メニューでも調整できます。● p. 49
- 台形補正を行っているときに、画面に表示されるゲージの値が変化しなくなったら、台形補正量の限界を超えたことを示しています。本機を制限以上に傾けて設置していないか確認してください。

# 画質の調整をしよう

映像の画質を調整します。

#### コンピュータ映像の調整

#### ■自動セットアップ

接続されたコンピュータの信号を判断し、コンピュータの映像を最適な状態に 自動的に調整します。

自動セットアップで調整されるのは、<u>トラッキング</u> $^{\triangleright}$ 、表示位置、<u>同期</u> (Sync.) $^{\triangleright}$ の3項目です。



環境設定メニューの「映像」-「自動セットアップ」を「OFF」に設定している場合は(初期設定は「ON」)、自動セットアップ機能は働きません。この場合は、コンピュータの映像を投写中に、リモコンの[自動調整]ボタンを押して、調整を行います。



- Eズーム機能や静止機能を実行しているときや環境設定メニュー、ヘルプを表示中に[自動調整]ボタンを押すと、実行している機能を解除してから調整します。
- コンピュータが出力している信号によっては、うまく調整できない場合があります。そのような場合は、環境設定メニューで、トラッキングと同期をそれぞれ調整してください。 ●p. 36, 37

## ■トラッキングの調整

自動セットアップを行っても、コンピュータの映像に縦の縞模様が出て調整しきれない場合は、次のように個別にトラッキング

→の調整を行います。



#### 操作

1 リモコンの[メニュー] ボタンを押し、環境設定メニューから「映像」 - 「トラッキング」を選びます。 操作の詳細は、「環境設定メニュー

の操作」をご覧ください。 **● p.**55



**2** [◄][►] ボタンを押して、映像の 縦の縞模様が消えるようにトラッ キングの値を設定します。

ボタンを押すたびに、トラッキングの値が増減します。



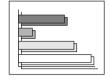
**3** 設定が終了したら [メニュー] ボタンを押して環境設定メニューを終了します。



連続してトラッキングを調整すると、投写映像が点滅しますが、故障では ありません。

## ■同期の調整

自動セットアップを行っても、コンピュータの映像にちらつき、ぼやけ、横ノイズが出て調整しきれない場合は、次のように個別に同期♥調整を行います。



#### 操作

**1** リモコンの [メニュー] ボタンを押し、環境設定メニューから「映像」 - 「同期」を選びます。

操作の詳細は、「環境設定メニューの 操作」をご覧ください。 **●** p. 55



**2** [◄][►] ボタンを押して、映像のちらつき、ぼやけ、横ノイズが消えるように同期の値を設定します。

ボタンを押すたびに、同期の値が増減します。



**3** 設定が終了したら [メニュー] ボタンを押して環境設定メニューを終了します。



- トラッキング<sup>トト</sup>を合わせてから同期を調整しないと、完全には調整できません。トラッキングのずれは、表示している画面によっては目立たない場合があります。縦線や網点の多い画面では目立ちやすくなりますので、トラッキングのずれを確認してください。
- ちらつき、ぼやけは、明るさや<u>コントラスト</u>→、シャープネス、台形補正 の調整で起こることもあります。

## 映り具合を選ぶ(カラーモード選択)

映像の特徴に合わせた次の6種類の設定があらかじめ記録されています。投写映像に応じて選択するだけで、簡単に最適な画質で投写できます。モードによって投写の明るさが異なります。

| モード名      | 使い方  |
|-----------|--|
| sRGB→     | 色の標準規格である sRGB に準拠します。接続している機器に<br>sRGB モードがある場合、本機と接続機器の両方とも sRGB に設定<br>して使用します。 |
| ノーマル      | 明るさを重視した、明るい部屋でのプレゼンテーション用です。  |
| ミーティング    | 補色をせず、元の色合いのままメリハリを付けた映像にします。  |
| プレゼンテーション | 暗い部屋でのプレゼンテーション用です。  |
| シアター      | 自然な色合いで映画に最適です。  |
| ゲーム       | 明るさを重視した、明るい部屋でのゲーム用です。  |

#### 操作

リモコンの [カラーモード] ボタンを押すた びに次の順でカラーモードが切り替わりま す。

ノーマル → ミーティング → プレゼンテーショ > > > シアター → ゲーム → sRGB…

モードを切り替えるたびに、画面右上に現在の設 定が表示されます。

カラーモードの初期設定値は、次のとおりです。 コンピュータ映像・EasyMP 入力時:

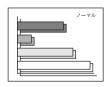
「ノーマル」

<u>コンポーネントビデオ</u>▶・ビデオ・<u>S</u>-ビデオ<mark>▶</mark>入

力時:「シアター」









環境設定メニューの「映像」-「カラーモード」からも設定できます。 **☞** p. 45, 46, 47



# 応用編

この章では、投写を効果的にするための機能と環境設定メニューについて説明しています。

| 投写を効果的にする機能                                 | 40 |
|---|----|
| ● ミュート機能                                    | 40 |
| ● 静止機能                                      | 41 |
| <ul><li>ビデオ機器の映像投写時に、ワイドサイズの映像を写す</li></ul> |    |
| (アスペクト比の切り替え)                               | 42 |
| ● E ズーム機能                                   | 43 |
| 環境設定メニューの機能と操作                              | 44 |
| ● 機能一覧                                      |    |
| ・「映像」メニュー                                   |    |
| ・「音声」メニュー                                   | 48 |
| ・「設定」メニュー                                   | 49 |
| ・「ユーザーロゴ」メニュー                               | 50 |
| ・「高度な設定」メニュー                                | 51 |
| ・「情報」メニュー                                   | 53 |
| ・「全初期化」メニュー                                 | 54 |
| ● 環境設定メニューの操作                               | 55 |

# 投写を効果的にする機能

ここでは、プレゼンテーションなどに有効で便利な各機能について説明しています。

### ミュート機能

映像と音声を一時的に消します。

例えば、コンピュータの映像を投写中にファイルの切り替えを行うなど、操作内容を見ている人に表示したくない場合に使用すると便利です。

ただし、動画を消している場合は消えている間も映像と音声は進んでいますので、消したときの場面からは再開できません。

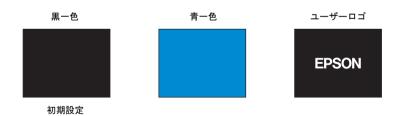
#### 操作

リモコンの [ミュート] ボタンを押します。 映像と音声が消えます。

もう一度[ミュート]ボタンを押すと投写を再開します。



映像と音声を一時的に消したときの状態を、環境設定メニューの「設定」-「A/V ミュート」により、次の3種類の中から選択できます。 p.49





ユーザーロゴには EPSON ロゴが登録してあります。ユーザーロゴを変更する場合は、ユーザーロゴの登録が必要です。 ☞ p.85

## 静止機能

映像の動きを一時的に停止します。ただし、音声は停止しません。 動画を停止している場合は、停止している間も映像は進んでいますので、停止し たときの場面からは再開できません。

## 操作

リモコンの [静止] ボタンを押します。 映像が停止します。

解除するには再び[静止]ボタンを押すか、 [戻る]ボタンを押します。



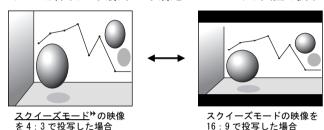


- [静止]ボタンを押すと、環境設定メニュー、ヘルプメニューは消去されます。
- ポイント E ズーム実行時も、静止機能で停止できます。 ただし、静止機能を解除するときは [静止] ボタンのみが有効となります。

# ビデオ機器の映像投写時に、ワイドサイズの映像を写す (アスペクト比の切り替え)

<u>コンポーネントビデオ</u> (<u>YCbCr</u> 、<u>YPbPr</u> )、ビデオ (<u>S-ビデオ</u> 、<u>コンポ ジットビデオ</u> ) 投写時は、<u>アスペクト比</u> 4:3 と 16:9 を切り替えることができます。

デジタルビデオで録画した映像やDVD映像を16:9のワイド画面で投写できます。



## 操作

**1** リモコンの[メニュー]ボタンを押し、 環境設定メニューから「映像」 - 「アス ペクト比」を選びます。

操作の詳細は、「環境設定メニュー の操作」をご覧ください。 ◆ p.55



**2** [◄][►] ボタンで、アスペクト比「4:3」または「16:9」のいずれかを選択し、[決定]ボタンを押します。



**3** 設定が終了したら [メニュー] ボタンを押して環境設定メニューを終了します。

## Eズーム機能

グラフや表など見たい部分を拡大/縮小できます。

#### 操作

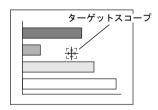
**1** リモコンの [Eズーム⊕] ボタンを押します。

投写中の画面に、ズームを行う中心点を表 すカーソル (ターゲットスコープ) が表示 されます。

**2** 拡大/縮小表示したい部分にターゲット スコープを移動させます。

ターゲットスコープの移動は、リモコンの [▲][▼][▼][►] ボタンを押して行いま す。

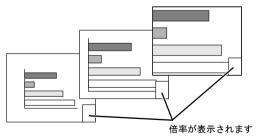




**3** リモコンの  $[\oplus]$  ボタンを押すと、ターゲットスコープを中心に映像が拡大されます。  $[\ominus]$  ボタンを押すと拡大した結果を縮小します。

画面右下に倍率が表示されます。

[ $\blacktriangle$ ][ $\blacktriangledown$ ][ $\blacktriangleright$ ] ボタンを押すことによって、画面のスクロールができます。



解除するには[戻る]ボタンを押します。



1~4倍まで、0.125倍刻みに25段階で拡大できます。

# 環境設定メニューの機能と操作

環境設定メニューでは、各種調整や設定ができます。

メニューは、トップメニューとサブメニュー、サブサブメニューがあり、階層構造になっています。

環境設定メニューの操作はリモコンを使って行います。操作方法の詳細は「環境設定メニューの操作」 (☞ p. 55) をご覧ください。



## 機能一覧

#### 「映像」メニュー

- 入力信号が何も入力されていないときは、「入力信号」、「自動セットアップ」、 「ビデオ信号方式」をを除く項目は調整できません。
- ●「映像」メニューは投写している入力信号によって表示される項目が異なります。投写している入力信号以外のメニューは調整できません。

#### コンピュータ (Analog-RGB)



# 映像メニュー

| サブメニュー       | 機能   | 初期設定値       |
|--------------|--|-------------|
| 表示位置         | 映像の表示位置を上下左右に移動します。<br>・[決定]ボタンを押して表示される表示位置調整画面で<br>調整します。  | 接続信号による     |
| トラッキング       | 映像に縦の縞模様が出るときに調整します。   | 接続信号<br>による |
| 同期▶          | 映像にちらつき、ぼやけ、横ノイズが出るときに調整します。 ・ちらつき、ぼやけは、明るさやコントラスト・、シャープネス、台形補正の調整で発生することもあります。 ・トラッキング調整の後に同期を調整したほうが鮮明に調整できます。                 | 接続信号<br>による |
| 明るさ          | 映像の明るさを調整します。  | 中心値 (0)     |
| コントラスト       | 映像の明暗の差を調整します。   | 中心値 (0)     |
| シャープネス       | 映像のシャープ感を調整します。  | 中心値 (0)     |
| カラーモード       | 映像の色の鮮やかさを補正します。各ソース(コンピュータ、ビデオ機器)ごとに設定を保存できます。 6種類の画質から簡単にシーンに合った画質を選択できます。 ・ **RGB**・ : ****: ****: : *****: : *****: : ****** | ノーマル        |
| 入力信号         | 使用する入力信号を選択します。<br>・コンピュータ映像を投写する場合は、「コンピュータ」<br>を選択します。   | 接続信号による     |
| 自動<br>セットアップ | 入力信号が切り替わったときに、映像を自動で最適な状態に調整する機能の ON/OFF を設定します。  | ON          |
| 初期化          | 「映像」メニューのうち、「入力信号」を除くすべての調整値を初期値に戻します。 ・[決定]ボタンを押して表示される確認画面で「はい」を選択します。 ・映像や音声などすべての設定を初期値に戻すときは「全初期化」を実行してください。 ● p. 54        | -           |

※ sRGB に設定すると「高度な設定」 - 「カラー調整」の色温度が 6500K に固定されます。

# コンポーネントビデオ (YCbCr、YPbPr)

# ビデオ(S-ビデオ、コンポジットビデオ)





#### 映像メニュー

| サブメニュー | 機能   | 初期設定値   |
|--------|--|---------|
| 表示位置   | 映像の表示位置を上下左右に移動します。<br>・[決定]ボタンを押して表示される表示位置調整画面で<br>調整します。  | 接続信号による |
| 明るさ    | 映像の明るさを調整します。  | 中心値 (0) |
| コントラスト | 映像の明暗の差を調整します。   | 中心値 (0) |
| 色の濃さ   | 映像の色の濃さを調整します。   | 中心値 (0) |
| 色合い    | ( <u>コンポーネントビデオ</u> →と NTSC 系の信号入力時のみ<br>調整可能)<br>映像の色合いを調整します。  | 中心値 (0) |
| シャープネス | 映像のシャープ感を調整します。  | 中心値 (0) |
| カラーモード | 映像の色の鮮やかさを補正します。各ソース(コンピュータ、ビデオ機器)ごとに設定を保存できます。 6 種類の画質から簡単にシーンに合った画質を選択できます。 ・ ** ・ ** ・ ** ・ ** ・ ** ・ ** ・ ** ・ * | シアター    |
| 入力信号   | (コンポーネントビデオ信号入力時のみ調整可能)<br>使用する機器に応じて入力信号を選択します。   | 接続信号による |

| サブメニュー                     | 機能   | 初期設定値   |
|----------------------------|--|---------|
| ビデオ信号<br>方式                | (ビデオ/S-ビデオ信号入力時のみ調整可能)<br>ビデオ信号方式を設定します。<br>・[決定]ボタンを押して表示されるビデオ信号方式選択<br>メニューから選択します。<br>・「Auto」にすると自動的にビデオ信号を設定します。                                  | Auto    |
| <u>アスペクト</u><br><u>比</u> ▶ | 映像のアスペクト比を設定します。   | 接続信号による |
| 初期化                        | 「映像」メニューのうち、「入力信号」、「ビデオ信号方式」<br>を除くすべての調整値を初期値に戻します。<br>・[決定] ボタンを押して表示される確認画面で「はい」を<br>選択します。<br>・映像や音声などすべての設定を初期値に戻すときは「全<br>初期化」を実行してください。 ● p. 54 | _       |

※ sRGB に設定すると「高度な設定」 - 「カラー調整」の色温度が 6500K に固定されます。

## EasyMP



映像メニュー

| サブメニュー | 機能  | 初期設定値   |
|--------|---|---------|
| 明るさ    | 映像の明るさを調整します。   | 中心値 (0) |
| コントラスト | 映像の明暗の差を調整します。  | 中心値 (0) |
| シャープネス | 映像のシャープ感を調整します。   | 中心値 (0) |
| カラーモード | 映像の色の鮮やかさを補正します。各ソース(コンピュータ、ビデオ機器)ごとに設定を保存できます。 6 種類の画質から簡単にシーンに合った画質を選択できます。 ・ * * * * * * * * * * * * * * * * * * * | ノーマル    |

| サブメニュー | 機能   | 初期設定値 |
|--------|--|-------|
| 初期化    | 「映像」メニューのうち、「入力信号」を除くすべての調整値を初期値に戻します。 ・[決定]ボタンを押して表示される確認画面で「はい」を選択します。 ・映像や音声などすべての設定を初期値に戻すときは「全初期化」を実行してください。 ← p.54 |       |

# 「音声」メニュー



| サブメニュー | 機能  | 初期設定値       |
|--------|---|-------------|
| 音量     | 音量を調節します。   | 中心値<br>(10) |
| トーン    | 音声のトーンを調整します。   | 中心値 (0)     |
| 初期化    | 「音声」メニューの調整値を初期値に戻します。 ・[決定] ボタンを押して表示される確認画面で「はい」を選択します。 ・映像や音声などすべての設定を初期値に戻すときは「全初期化」を実行してください。 ← p.54 | 1           |



「音声」メニューの調整値は各映像ソースごとに保存されます。

# 「設定」メニュー

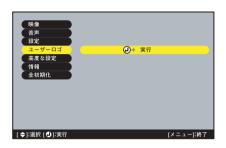


| サブメニュー       | 機能   | 初期設定値  |
|--------------|--|--------|
| 台形補正         | 台形にゆがんだ画面を垂直方向に補正します。 ・台形補正をすると画面が小さくなります。 ・台形補正でムラが目立つ場合は、シャープネスを下げてください。   | 中心値(0) |
| 自動台形補正       | 本機の角度を調整したとき、自動的に台形補正する機能のON/OFFを設定します。<br>「高度な設定」の「リア」、「上下反転」がともに「OFF」のときに限り機能が働きます。「リア」、「上下反転」のどちらかが「ON」になっていると、このメニューは選択できません。  | ON     |
| ノーシグナル 表示    | 入力信号が入力されていないときなどのメッセージ表示の状態、背景の画面の設定を行います。<br>OFF に設定すると、メッセージは表示されず背景は黒色になります。<br>・ユーザーロゴを変更するには、ユーザーロゴの登録が必要です。   | 青      |
| 入力表示         | 入力信号を切り替えたときに、入力信号名を画面に表示するか、しないかを設定します。   | ON     |
| カラーモード<br>表示 | カラーモードを変更したときに、カラーモード名を画面に<br>表示するか、しないかを設定します。  | ON     |
| A/V ₹ ユート    | リモコンの [ミュート] ボタンを押したときの画面の状態を設定します。<br>・ユーザーロゴを変更するには、ユーザーロゴの登録が必要です。  | 黒      |
| スリープ<br>モード  | 信号が入力されていないときの省電力機能を設定します。 ・「ON」にしておくと、「映像信号が入力されていません」の表示状態で30分間操作しないと自動的に投写を終了し、クールダウント後、スリーブモード(スタンバイ状態)になります。(電源インジケータはオレンジ色に点灯しています。)・本体、またはリモコンの[電源]ボタンを押すと投写を再開します。 | ON     |

#### 環境設定メニューの機能と操作

| サブメニュー | 機能  | 初期設定値 |
|--------|---|-------|
| 初期化    | 「設定」メニューの調整値を初期値に戻します。 ・[決定] ボタンを押して表示される確認画面で「はい」を選択します。 ・映像や音声などすべての設定を初期値に戻すときは「全初期化」を実行してください。 ☞ p.54 | -     |

# 「ユーザーロゴ」メニュー



| サブメニュー | 機能            | 初期設定値    |
|--------|---------------|----------|
| 実行     | ユーザーロゴを登録します。 | EPSON ロゴ |

# 「高度な設定」メニュー



| サブメニュー       | 機能  | 初期設定値                  |
|--------------|---|------------------------|
| スタートアップスクリーン | スタートアップスクリーンの表示の有効・無効の設定を<br>行います。<br>ユーザーロゴを変更するには、ユーザーロゴの登録と設定<br>が必要です。  | ON                     |
| カラー調整        | 映像ソースごとに、映像の色温度 → と RGB(赤緑青)の各色の強さを調整します。 ・色温度 : 白色を赤みがかった色から、青みがかった色まで調整できます。  | 色温度:<br>接続信号に<br>より異なる |
| リア           | リアスクリーンに後方から投写するときに使います。<br>「ON」に設定すると投写映像が左右に反転します。  | OFF                    |
| 上下反転         | 天井に取り付けて投写するときに使います。<br>「ON」に設定すると投写映像が180°回転し、逆さまに投写<br>されます。  | OFF                    |
| Link 21L     | ユーティリティソフト「EMP Link211)」の使用/不使用を設定します。<br>設定を変更した場合は、一度電源を切ってクールダウン♪<br>終了後に電源プラグを抜いて、差し直します。その後、電源を入れ直すと、以降は設定が有効になります。<br>● 『安全に正しくお使いいただくために/サポートとサービスのご案内』の「ユーティリティソフトのご提供」 | OFF                    |

## 環境設定メニューの機能と操作

| サブメニュー | 機能  | 初期設定値        |
|--------|---|--------------|
| 待機モード  | 「ネットワーク有効」に設定すると本機がスタンバイ状態のときも、ネットワーク接続しているコンピュータから本機を監視・制御できるようになります。<br>設定を変更した場合は、一度電源を切ってクールダウン終了後に電源を入れ直します。電源を入れ直した以降、設定が有効になります。 | ネットワー<br>ク無効 |
| 言語     | EasyMPの画面やメッセージに表示する言語を設定します。 ・[決定]ボタンを押して表示される言語の選択メニューから選択します。  | 日本語          |
| 初期化    | 「高度な設定」メニューのうち、「言語」を除くすべての調整値を初期値に戻します。 ・[決定] ボタンを押して表示される確認画面で「はい」を選択します。 ・映像や音声などすべての設定を初期値に戻すときは「全初期化」を実行してください。 ● p. 54             | -            |

## ▋「情報」メニュー

- 「情報」メニューは投写している入力信号の設定状態を表示します。
- 「ランプ点灯時間」は、0~10時間まではOHとして表示されます。10時間以上は 1時間単位で表示します。

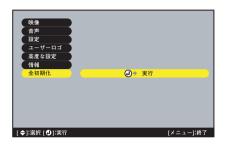
コンピュータ/コンポーネントビデオ/EasyMP ビデオ
(Analog-RGB、YCbCr、YPbPr) (S-ビデオ、コンポジットビデオ)





| サブメニュー                 | 機能   | 初期設定値 |
|------------------------|--|-------|
| ランプ点灯<br>時間            | ランプの累積使用時間を表示します。<br>・ランプ寿命警告時間に達すると、文字が警告色(赤)で<br>表示されます。           | ОН    |
| ランプ点灯<br>時間初期化         | ランプ点灯時間の初期化を行います。実行すると、ランプ<br>点灯時間の累積が初期設定値にクリアされます。                 | _     |
| 映像ソース                  | 現在投写中の入力ソースを表示します。   |       |
| 入力信号                   | 入力信号の設定を表示します。<br>(映像ソースがビデオ、S-ビデオ▶の場合は表示されません。)                     |       |
| ビデオ信号<br>方式            | ビデオの信号方式を表示します。<br>(映像ソースがコンピュータ、コンポーネントビデオ、<br>EasyMP の場合は表示されません。) | -     |
| 周波数                    | 水平・垂直走査周波数を表示します。<br>(映像ソースがビデオ、S-ビデオの場合は表示されません。)                   | _     |
| 同期▶極性                  | 同期の極性を表示します。<br>(映像ソースがビデオ、S-ビデオの場合は表示されません。)                        | _     |
| 同期モード                  | 同期の属性を表示します。<br>(映像ソースがビデオ、S-ビデオの場合は表示されません。)                        | _     |
| 入力解像度                  | 入力解像度を表示します。<br>(映像ソースがビデオ、S-ビデオの場合は表示されません。)                        | _     |
| リフレッシュ<br>レート <b>→</b> | リフレッシュレートを表示します。<br>(映像ソースがビデオ、S-ビデオの場合は表示されません。)                    | _     |

# 「全初期化」メニュー



| サブメニュー | 機能   | 初期設定値 |
|--------|--|-------|
| 実行     | 環境設定メニューの全項目を初期設定に戻します。 ・[決定]ボタンを押して表示される確認画面で「はい」を選択します。 ・映像や音声などメニューごとの設定を初期値に戻すときは、それぞれのサブメニューで「初期化」を実行してください。 ・「入力信号」、「ビデオ信号方式」、「ユーザーロゴ」、「ランプ点灯時間」、「言語」は初期値に戻りません。 | -     |

# 環境設定メニューの操作

環境設定メニューはリモコンで操作します。

#### 操作

**1** リモコンの [メニュー] ボタンを押します。

環境設定メニューが表示されます。



**2** 項目を選択します。

[▲][▼] ボタンを押して、設定する項目に 移動します。



**3** 項目を決定します。

[決定] ボタンを押して項目を決定します。 サブメニューが表示されます。



₫ サブ項目を選択します。

[▲][▼] ボタンを押して、設定するサブ項目に移動します。

「映像」メニューや「情報」メニューは、投写 している入力ソースによって表示される 項目が異なります。



5 調整値を選択します。

[◄][►] ボタンを押して、調整値を変更します。

現在設定されている項目は ● が緑色になっています。 [◄] [►] ボタンで設定する項目を選択すると、選択した項目の ● はオレンジ色で表示されます。選択した後、[決定] ボタンを押して確定すると、 ● が緑色に変わります。





- 設定を実行したり下の階層へ続くサブ項目は、項目名の後ろに
   ④ マークが表示されています。この項目の場合は[決定]ボタンを押した後、調整値を選択します。
- ◆ 各設定項目の機能については「機能一覧」をご覧ください。● p. 44
- **6** 続いて他の項目も同様に設定します。 手順2~5と同様です。1つ前の階層に戻るには、「戻る] ボタンを押します。
- **7** 環境設定メニューを終了します。 「メニュー」ボタンを押します。



# 困ったときに

ここでは、想定されるトラブルと、その対処法などについて説明しています。

| ヘルプの見方5                    |
|----------------------------|
| 故障かなと思ったら5                 |
| ● 電源インジケータ5                |
| ● ☆ 🖟 ( 異常 / 警告 ) インジケータ 6 |
| インジケータを見てもわからないとき6         |
| ネットワークのトラブル                |

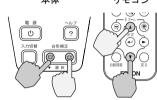
# ヘルプの見方

トラブル発生時の解決方法を投写画面に表示できます。質問に答える形式で階層を進んでいきます。

#### 操作

- **1** 本体の[ヘルプ]ボタンを押します。 ヘルプメニューが表示されます。
- 2 項目を選択します。
   本体
   リモコン
- 本体の場合は、[▼選択▲] ボタンが上下 キーとして機能します。リモコンの場合は、[▲][▼] ボタンを押し

て項目を選択します。



本体



- **3** 項目を決定します。 本体、またはリモコンの[決定]ボタンを 押して項目を決定します。
- **4** 手順2、3の操作と同様にさらに詳細な項目を選択・決定します。

本体の[ヘルプ]ボタンを押すと、ヘルプメニューは解除されます。

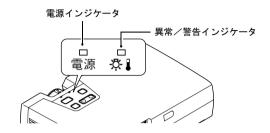




ヘルプ機能を使ってもわからないときは、「故障かなと思ったら」 (●p.59) および「インジケータを見てもわからないとき」(●p.62) をご覧ください。

# 故障かなと思ったら

故障かな?と思ったら、まず本体のインジケータをご覧ください。 本機には、次の2種類のインジケータがあり本機の状態を知らせています。



インジケータの状態とその対処方法については、下表を参照してください。

# 電源インジケータ

■ : 点灯 : 単 : 点滅

| 状態        | 原因           | 処置または状態  |    |
|-----------|--------------|--|----|
| オレンジ■     | スタンバイ状態      | (異常ではありません)<br>この場合に限り、電源ケーブルを抜くことができます。<br>本体、またはリモコンの[電源]ボタンを押すと投写を開始します。  | 26 |
| オレンジ<br>事 | クールダウン中      | <ul> <li>(異常ではありません)</li> <li>そのまましばらくお待ちください。<br/>クールダウン♪の時間は約45秒間です。</li> <li>クールダウン中は、本体、またはリモコンの<br/>[電源] ボタンを押しても無効となります。<br/>クールダウン終了後、もう一度操作してくだ<br/>さい。</li> </ul> | 29 |
| 緑色        | 投写中          | (異常ではありません)  | 27 |
| 緑色        | ウォーム<br>アップ中 | (異常ではありません)<br>そのまましばらくお待ちください。<br>ウォームアップの時間は約40秒です。ウォーム<br>アップ終了後、緑色の点灯に変わります。   | 27 |

# ☆ ▮ ( 異常 / 警告 ) インジケータ

■:点灯 : 点滅

| 状態                    | 原 因                 | 処置または状態   |          |
|-----------------------|---------------------|---|----------|
| 赤色<br>■               | 内部高温異常<br>(オーバーヒート) | ランプが自動的に消灯し、投写できなくなります。約5分間は、そのままの状態で待ちます。約5分後、電源プラグを抜いて、次の2点を確認して改善します。 ● エアーフィルタ・排気口がふさがれていないか、壁際に設置されていないか確認してください。 ● エアーフィルタが汚れている場合は、掃除を   | 13<br>79 |
|                       |                     | してください。<br>電源プラグを差し直すと、状態が復帰します。本体、またはリモコンの[電源]ボタンを押して電源を入れ直します。上記の改善を行っても、繰り返しオーバーヒート状態になったり、電源を入れ直したときにインジケータが異常を示したときは、ご使用をやめ、電源プラグをコンセントから抜き、お買い上げの販売店またはエプソンサービスコールセンター(本書裏表紙に記載)に修理を依頼してください。 | 19       |
| 赤色<br>:庫:<br>(0.5秒間隔) | ランプ異常               | 電源プラグをコンセントから抜いてランプを取り出します。ランプが割れていないか確認し、割れていなければ再セットします。その後、電源プラグを差し、本体、またはリモコンの[電源]ボタンを押して電源を入れます。それでも直らないときは、ご使用をやめ、電源プラグをコンセントから抜き、お買い上げの販売店またはエプソンサービスコールセンター(本書裏表紙に記載)に修理を依頼してください。          | 82       |
|                       |                     | ランプが割れている場合は、お買い上げの販売<br>店またはエプソンサービスコールセンター<br>(本書裏表紙に記載)にランプ交換を依頼して<br>ください。(交換しないと映像を投写すること<br>はできません。)  |          |
|                       |                     | ランプやランプカバーが確実に取り付けられているか確認してください。ランプおよびランプカバーが確実に取り付けられていない場合は、ランプが点灯しません。  | 82       |
| 赤色<br>:ൎ□:<br>(1 秒間隔) | 内部異常                | ご使用をやめ、電源プラグをコンセントから抜き、お買い上げの販売店またはエプソンサービスコールセンター(本書裏表紙に記載)に修理を依頼してください。   |          |

| 状態                       | 原因    | 処置または状態   | •        |
|--------------------------|-------|---|----------|
| オレンジ色<br><del>:</del> 庫: | 高速冷却中 | <ul><li>(異常ではありません。ただし、さらに高温になると投写を自動的に停止させます。)</li><li>エアーフィルタ・排気口をふさがないよう、通気性のよい場所に設置してください。</li><li>エアーフィルタの掃除をしてください。</li></ul> | 13<br>79 |



- インジケータは異常を示してないのに、投写映像が異常のときは、次ページの「インジケータを見てもわからないとき」をご覧ください。

# インジケータを見てもわからないとき

次のような現象でインジケータを見てもわからないときは、各項目を参照して ください。

- 映像が写らない
- 映像がぼやける・乱れ p.64 る(鮮明ではない)
- 映像が切れる (大きい/小さい)
- 映像の色が悪い
- 映像が暗い

- **p**. 62, 63

- **p** p. 66
- **p** p. 67
- **p** p. 67

- 映像が緑色がかって表示● n.68 される 映像が赤紫色がかって表
- 示される ● 音が出ない
- **p.** 68
- リモコンで操作できない p. 68
- 終了しない
- **p.** 68

#### 映像が写らない(何も表示されない)



映像が写らない

- 投写終了直後(クールダウン→中)は、本体、またはリモコ ンの「雷源」ボタンの操作はできません。クールダウンが 終了後に、ボタンの操作が有効となります。 p. 29
- スリープモードを ON にしていませんか? スリープモードを「ON」に設定した場合、映像信号が入らな い状態で約30分間操作しないと、ランプが自動的に消灯し ます。このとき電源インジケータはオレンジ色に点灯して います。 ● 「設定」- 「スリープ モード」p. 49
- ●「電源」ボタンを押しましたか? **p**. 27
- ●映像の明るさは正しく調整されていますか? ●「映像」-「明るさ」p. 45. 46
- ミュートの状態になっていませんか? **p.** 40
- 入力映像そのものが真っ黒になっていませんか? スクリーンセーバーなどで入力映像が真っ里になっている ことがあります。
- 映像信号が入力されていますか? 環境設定メニューの「設定」-「ノーシグナル表示」で「OFF」 に設定しているときは、メッセージが表示されません。黒 または青に設定して、メッセージを表示させてください。 メッセージが表示されたときは、それぞれの項目を参照し てください。 **☞**「設定」-「ノーシグナル表示」p. 49
- 全初期化してみてください。
  - ☞ 「全初期化」-「実行」p. 54

#### 映像が写らない(メッセージが出る)



■ コンピュータから出力されている映像信号の周波数が 対応するモードか確認してください。

コンピュータから出力されている映像信号の解像度・周波 数の変更は、コンピュータの取扱説明書などでご確認くだ さい。 **(** p. 92

「この信号は本プロジェク ターでは受けられません。」 と表示される



ません。」と表示される

**☞** p. 15 **~** p. 23

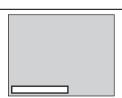
ケーブル類が正しく接続されていますか?

- 接続した映像入力端子を正しく選択していますか? 本体の「入力切替](リモコンの場合は「PC/EasyMP]、 [S-ビデオ / ビデオ]) ボタンを押し、映像を切り替えてく ださい。 **( )** p. 28
- 接続されたコンピュータまたはビデオ機器の電源は 入っていますか?

**p.** 27

ノートタイプや液晶ー体型タイプのコンピュータの ときには、プロジェクターに映像信号を出力させること が必要になります。

通常は映像信号が液晶画面への出力だけで、外部に出力さ れていませんので、外部に切り替えてください。外部に映 像信号を出力すると、液晶画面に映像が出せないモデルも あります。接続したコンピュータの取扱説明書の「外部出 力のしかた」や「外付けモニターへ出力のしかた」などを参 照してください。 **● p. 28** 

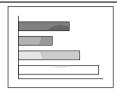


「Easv MPシステムに異常が 発見されました。」と表示さ れる

● 再起動が必要です。

一度電源プラグをコンセントから抜き、再度接続して電源 を入れてください。同じ状態が繰り返される場合は電源プ ラグをコンセントから抜き、お買い上げの販売店またはエ プソンサービスコールセンター(本書裏表紙に記載)に修 理を依頼してください。

#### 映像がぼやける・乱れる(鮮明ではない)



- ●映像がぼやける
- ●映像の一部しかピントが合わない
- ●ピントがまったく合わない

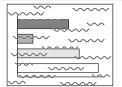
- レンズカバーが付いたままではありませんか?
- フット調整で投写角度が大きくなっていませんか? 投写角度が大きい場合、上下でピントがずれて合いにくく なることがあります。 ● p. 32

- レンズが結露していませんか?

寒い部屋から急に暖かい部屋へ持ち込んだときなど、レンズの表面が結露して映像がぼやけることがあります。ご使用になる1時間くらい前に使用する部屋に設置するようにします。結露してしまったときは、電源を切ってしばらくそのまま放置してください。

「同期<sup>▶</sup>・トラッキング<sup>▶</sup>・表示位置」は正しく調整されていますか?

環境設定メニューの「映像」-「自動セットアップ」を「OFF」に 設定している場合は、リモコンの[自動調整]ボタンを押 して調整します。自動セットアップや[自動調整]ボタン で調整を行っても調整しきれない場合は、環境設定メ ニューで個別に調整することもできます。 ❤ p. 35, 45



- ●映像が乱れる
- ノイズが入る

- ケーブルは正しく接続されていますか?
  - **☞** p. 15 **~** p. 23
- 解像度の選択は正しいですか?

本機に対応する信号にコンピュータを合わせてください。 信号の変更はコンピュータの取扱説明書などで確認してく ださい。 **☞** p. 92

「<u>同期</u><sup>▶</sup>・トラッキング</sub><sup>▶</sup>・表示位置」は正しく調整されていますか?

環境設定メニューの「映像」-「自動セットアップ」を「OFF」に 設定している場合は、リモコンの [自動調整]ボタンを押 して調整します。自動セットアップや [自動調整]ボタン で調整を行っても調整しきれない場合は、環境設定メ ニューで個別に調整することもできます。 ◆ p. 35, 45

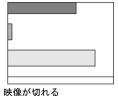
- ケーブルを延長していませんか?
   ケーブルを延長するとノイズが入ることがあります。同梱のケーブルを使用して確認してください。

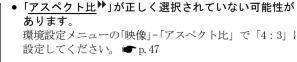
#### 映像が緑色がかって表示される/映像が赤紫色がかって表示される



- 映像の信号形式の設定は合っていますか?
   コンピュータを接続しているのに、環境設定メニューの「映像」-「入力信号」で「コンポーネント(YPbPr→)」や「コンポーネント(YCbCr→)」に設定していると、映像が赤紫色がかって表示されます。
  - コンポーネントビデオ → やBS デジタルチューナを接続しているのに、環境設定メニューの「映像」-「入力信号」で「コンピュータ」に設定していると映像が緑がかって表示されます。
  - ☞ 「映像」-「入力信号」p. 45, 46

#### 映像が切れる(大きい/小さい)



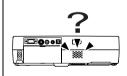


環境設定メニューの「映像」-「アスペクト比」で「4:3」に 設定してください。 **●** p. 47

- E ズーム機能で拡大されたままになっていませんか? リモコンの「戻る」ボタンを押すとE ズーム機能が解除 されます。 **● p. 4**3
- 「表示位置」は正しく調整されていますか? 環境設定メニューの「映像」-「表示位置」で調整してくださ ν<sub>o</sub> **σ** p. 45, 46
- 解像度の選択は正しいですか? 本機に対応する信号にコンピュータを合わせてください。 信号の変更はコンピュータの取扱説明書などで確認してく ださい。 **( p.** 92
- ノートタイプや液晶一体型タイプのコンピュータの解 像度を変更してください。 画面いっぱいの表示になるよう解像度を変更するか、映像 信号を外部出力のみにしてください。 p.28
- ・ デュアルディスプレイの設定をしていませんか? 接続しているコンピュータのコントロールパネルの「画面 のプロパティ」で、デュアルディスプレイの設定をしている と、プロジェクターでコンピータ画面の映像が半分くらい しか表示できません。コンピュータ画面の映像をすべて表 示する場合は、デュアルディスプレイの設定を解除しま す。詳しくは、お使いのコンピュータに組み込んでいるビ デオドライバのマニュアルをご覧ください。

#### 音が出ない

小さい



- 音声入力は正しく接続されていますか? **p.** 18, 24
- 音量調整が最小になっていませんか? **p.** 48
- ミュートの状態になっていませんか? ミュートモードになっていることが考えられます。 リモコンの「ミュート」ボタンを押してミュートを解除し てください。 **☞** p. 40

#### 映像の色が悪い



- 映像の明るさは正しく調整されていますか?
  - ●「映像」-「明るさ」p. 45, 46
- 映像の信号形式の設定は合っていますか?

コンピュータを接続しているのに、環境設定メニューの「映像」-「入力信号」で「コンポーネント(YPbPr→)」や「コンポーネント(YCbCr→)」に設定していると、映像が赤紫色がかって表示されます。

コンポーネントビデオ → やBS デジタルチューナを接続しているのに、環境設定メニューの「映像」-「入力信号」で「コンピュータ」に設定していると映像が緑がかって表示されます。

- 「映像」-「入力信号」p. 45, 46
- コントラスト<sup>▶</sup>は正しく調整されていますか?
   (季 「映像」 「コントラスト」 p. 45. 46
- 適切なカラー調整に設定されていますか?
- ●「高度な設定」-「カラー調整」p.51● 色の濃さ、色合いは正しく調整されていますか?
  - ●「映像」-「色の濃さ」、「色合い」p. 46
- **ランプの交換時期ではありませんか?** ランプの交換時期が近づくと映像が暗くなったり色合いが 悪くなります。新しいランプと交換してください。
- コンピュータと接続している場合 コンピュータのモニターや液晶画面への表示と映像の色合いは必ずしも一致しませんが、異常ではありません。

#### 映像が暗い



● ランプの交換時期ではありませんか?

ランプの交換時期が近づくと映像が暗くなったり色合いが 悪くなります。新しいランプと交換してください。

**p.** 82

**p.** 82

- 映像の明るさは正しく調整されていますか?
  - 「映像」- 「明るさ」p. 45, 46
- コントラスト→は正しく調整されていますか?

#### リモコンで操作できない





- リモコンの発光部をプロジェクターのリモコン受光部に向けて操作していますか?
  - 操作可能範囲は、左右約30°、上下約15°です。 ☞ p.11
- プロジェクターから離れすぎていませんか? 操作可能距離は、約6 mです。
- リモコン受光部に直射日光や蛍光灯の強い光が当たっていませんか?
- 電池は入っていますか?p.80
- 電池が消耗していませんか?
- 電池が逆にセットされていませんか?
  - **p.** 80

#### 終了しない([電源]ボタンを押した後に…)



- 電源インジケータがオレンジに点灯したままになっている。
  - 本機は電源を切っても電源インジケータは消灯しない構造になっています。コンセントから電源プラグを抜くと、電源インジケータは消灯します。
- ファンが止まらない。

本体、またはリモコンの [電源] ボタンを押して電源を 切った後、クールダウン

→ を行います。

その後、電源インジケータがオレンジに点灯しますので、電源プラグをコンセントから抜いてください。

※クールダウンの時間は、約45秒です。この時間は外気温などによって変わります。

# ネットワークのトラブル

EasyMP を使用中にトラブルが発生したときは、以下を参照してください。

#### 【プロジェクターに異常が起きてもメールが送られてこない

■ネットワークに正しく接続されていますか?

ネットワークケーブルが正しく接続されているか確認し、接続されていなかったり間違って接続されている場合は、正しく接続してください。

■ネットワークに接続するための設定は正しいですか?

設定を確認してください。 ● 『EasyMP セットアップガイド』「アクセスポイントモードまたは有線 LAN 接続モードで接続する」

■「待機モード」を「ネットワーク有効」に設定していますか?

環境設定メニューの「待機モード」を「ネットワーク有効」に設定してください。 ●「高度な設定」→「待機モード」p.52

■致命的な異常が発生し、プロジェクターが瞬時に起動停止状態になって いませんか。

瞬時に起動停止するとメール送信できません。

本機を確認しても復帰しない場合は、お買い上げの販売店またはエプソンサービスコール センター (本誌裏表紙記載) に修理を依頼してください。

■プロジェクターに電源が供給されていますか?

プロジェクターが設置されている地域が停電になっていたり、プロジェクターの電源を取っているコンセントのブレーカーが切れていないか確認してください。

#### **■EMP Monitor でプロジェクターを制御・監視できない**

■ネットワークに正しく接続されていますか?

接続されていなかったり間違って接続されている場合は、正しく接続してください。

■ネットワークに接続するための設定は正しいですか?

設定を確認してください。 

◆ 『EasyMP セットアップガイド』「アクセスポイントモード または有線 LAN 接続モードで接続する」

- ■コンピュータに EMP Monitor が正しくインストールされていますか? アンインストールしてから、再度インストールしてください。 ●『EasyMP セットアップ ガイド』「EasyMP Software のアンインストール」「EasyMP Software のインストール」
- ■制御・監視したいすべてのプロジェクターがプロジェクターリストに登録されていますか?

プロジェクターリストに登録してください。 🖝 『EasyMP 活用ガイド』「EMP Monitor を使って監視や制御をする|

■「待機モード」を「ネットワーク有効」に設定していますか?

■プロジェクターに電源が供給されていますか?

プロジェクターが設置されている地域が停電になっていたり、プロジェクターの電源を 取っているコンセントのブレーカーが切れていないか確認してください。

#### ネットワーク接続時、映像が投写されたままになって他のコンピュータ から接続できない

■プレゼンテーションした人がネットワーク接続を切断せずに会議室から 出てしまっていませんか?

プロジェクターキーワードが設定されていて、プロジェクターキーワードを知らない場合は、リモコンの[戻る]ボタンを押し、表示される終了メニューでプロジェクターキーワードを確認します。接続時に表示されるキーワード入力画面でそのプロジェクターキーワードを入力します。

#### **■EMP NS Connection を起動してもプロジェクターが見つからない**

- ■プロジェクターのカードスロットにLANカードがセットされていますか? LANカードをいったんカードスロットから抜いて、セットし直します。
  - 『EasyMP セットアップガイド』「カードのセットと取り出し」
- ■プロジェクターにセットした無線 LAN カードのアクセスランプが黄色で 点灯していますか?

アクセスランプが消えている場合は、無線LANカードをいったんカードスロットから抜いて、セットし直します。 

☞『EasyMP セットアップガイド』「カードのセットと取り出し」

■無線 LAN 接続の場合、「アドホックモード」で接続待機中になっていますか?

Network Screen の接続待機画面に「ESSID(ネットワーク名):xxx」と表示されていますか?

表示されていない場合は、プロジェクター側の簡単接続モード詳細設定画面で、「アドホックモード設定」を「ESSID 指定アドホック」に設定してください。

- ●『EasyMPセットアップガイド』「簡単接続モードで接続する」
- ■無線LAN接続の場合、コンピュータとプロジェクターで同一のESSID(ネットワーク名)を使用していますか?

#### Windows の場合

コンピュータ側とプロジェクター側で同じ ESSID(ネットワーク名)を設定してください。コンピュータ側で、無線 LAN の通信設定ユーティリティに ESSID(ネットワーク名)の設定がない場合は、「ESSID 指定アドホック」は使用できません。この場合は、「チャンネル指定アドホック」を利用してください。

#### Macintosh の場合

コンピュータ画面右上の通信状態を示すアイコンをクリックします。表示されるプルダウンメニューで、プロジェクターの ESSID 名を選択してください。

- 『EasyMP セットアップガイド』「簡単接続モードで接続する」
- ■プロジェクター側がネットワーク詳細設定画面になっていませんか?

ネットワーク詳細設定画面表示中はネットワーク接続が無効になります。
Network Screen 接続待機画面に戻してください。 ●『EasyMP セットアップガイド』「簡単接続モードで接続する」「アクセスポイントモードまたは有線 LAN 接続モードで接続する」

■コンピュータ側の LAN カードや内蔵の LAN 機能が使用できる状態になっていますか?

デバイスマネージャなどで LAN が有効になっているか確認してください。

■無線 LAN 接続の場合、コンピュータ側の無線 LAN 設定がアドホックモードになっていますか?

コンピュータ側で無線 LAN の通信設定ユーティリティ(クライアントマネージャ等)を使ってアドホックモードに設定します。無線 LAN カードメーカによっては、「無線 LAN パソコン間通信(WiFi)」「WiFi アドホック」「802.11 アドホック」「802.11 モード接続」「Peer to Peer」と表現されることがあります。

■EMP NS Connection の LAN 選択画面で、使用する LAN カードを選択しましたか? (Windows のみ)

EMP NS Connection の「拡張機能」 —「LAN 切替」で使用する LAN カードを選択してください。 🖝 『EasyMP セットアップガイド』「簡単接続モードで接続する」「アクセスポイントモードまたは有線 LAN 接続モードで接続する」

■無線 LAN 接続の場合、コンピュータの省電力設定で無線 LAN が使用不可の設定になっていませんか?(Windows のみ)

無線 LAN を使用可能にしてください。

■お使いの無線 LAN は Wi-Fi に準拠していますか?

Wi-Fi 準拠 (802.11b) 以外の規格 (802.11、802.11a、802.11g など) には対応していません。 エプソン販売のホームページ「I Love EPSON」 (http://www.i-love-epson.co.jp)

■WEP 暗号化設定は ON になっていませんか? (Windows のみ)

アドホックモードのとき、WEP は OFF でなければ接続できません。WEP 暗号化設定を OFF にしてください。 ● 『EasyMP セットアップガイド』「アクセスポイントモードまたは有線 LAN 接続モードで接続する」

### ■ アクセスポイントモードまたは有線 LAN 接続モードで接続できない

■アクセスポイントモードの場合、コンピュータとプロジェクターで同一の ESSID(ネットワーク名) を使用していますか?

#### Windows の場合

同じ ESSID (ネットワーク名) に設定しないと接続できません。プロジェクター側とコンピュータ側で同じ ESSID (ネットワーク名) に設定してください。

#### Macintosh の場合

コンピュータ画面右上の通信状態を示すアイコンをクリックします。表示されるプルダウンメニューで、プロジェクターの ESSID 名を選択してください。

- 『EasyMP セットアップガイド』「アクセスポイントモードまたは有線 LAN 接続モードで接続する」
- ■コンピュータとプロジェクターで同一の WEP キーを設定していますか? (Windows のみ)

■アクセスポイント側で MAC アドレス制限、ポート制限などの接続拒否機能を正しく設定していますか?

アクセスポイント側でプロジェクターを接続許可に設定してください。

■コンピュータとプロジェクターの IP アドレス、サブネットマスク、ゲートウェイアドレスが正しく設定されていますか?

DHCP 使用しない場合は各設定を合わせてください。 
● 『EasyMP セットアップガイド』
「アクセスポイントモードまたは有線 LAN 接続モードで接続する」

■コンピュータとプロジェクターのサブネットが異なっていませんか? EMP NS Connection の「IP 指定接続を使用する」を選択し、IP 指定接続モードで接続してください。 ●『EasyMP セットアップガイド』「接続したいプロジェクターが表示されないときは」

### **■アドホックモードで接続できない**

■アドホックモードの種類(チャンネル指定アドホック(Windowsのみ)または ESSID 指定アドホック)は正しいですか?

古いタイプのコンピュータでアドホックモードによる接続をしようとすると、「チャンネル指定アドホック」しか使えないものがあります。逆に最新のものは「ESSID 指定アドホック」だけのものが増えています。無線 LAN の通信設定ユーティリティに両方の設定がある場合は、通常は ESSID 指定アドホックをお使いください。

■ESSID 指定アドホック設定の場合、メルコ社製アクセスポイントが近くで 動作していませんか?

同じ ESSID に設定されているメルコ社製アクセスポイントが近くで動作しているとアドホック接続ができなくなります。アクセスポイントの電源を切るか、アクセスポイントとは異なる ESSID を設定してください。

### **■Network Screen で映像が表示されない、表示が遅い**

■Media Player で動画を再生したり、スクリーンセーバのプレビューを実 行しようとしませんでしたか?

コンピュータによっては、Media Playerによる動画再生画面が表示されなかったり、スクリーンセーバのプレビューが正常に表示されないことがあります。

■アクセスポイントモードまたは有線 LAN 接続モードで接続していませんか?

簡単接続モードに比べて表示速度が低下します。

■WEP 暗号化を有効にしたり、複数台のプロジェクターに接続していませんか?(Windowsのみ)

WEP 暗号化有効の場合や、複数台接続を行ったときは、表示速度が低下します。

■アクセスポイントモードまたは有線 LAN 接続モードで、DHCP を有効にしていませんか?

アクセスポイントモードまたは有線 LAN 接続モードで DHCP 有効に設定しているときに、接続可能な DHCP サーバが見つからないと、Network Screen 接続待機画面に切り替わるのに時間がかかります。

# Network Screen 使用時に PowerPoint のスライドショーが動作しない (Windows のみ)

■ Power Point を起動中に、EMP NS Connection を起動しませんでしたか?
Network Screen で接続する際は、事前に PowerPoint を終了してください。起動したまま接続するとスライドショーが動作しなくなることがあります。

# **■Network Screen を使用できない**

■パーソナルファイヤーウォールを設定していませんか?

パーソナルファイヤーウォールが設定されている場合は、Network Screen を使用できないことがあります。

### **■EMP SlideMaker2 でファイル指定ができない**

■使おうとしているPowerPointファイル (.ppt) は、PowerPoint 95/98の 形式ではありませんか?

一度、PowerPoint 2000/2002 で保存し直してから利用してください。

● 『EasyMP 活用ガイド』「シナリオに組み込めるファイル」

■PowerPoint ファイル (.ppt) をシナリオに貼り付けることができなかったりサムネイルに表示できない場合、Microsoft Officeの JPEG コンバータがインストールされていますか?

JPEG コンバータをインストールしてください。JPEG コンバータのインストールについては、Microsoft Office の取扱説明書をご覧ください。

### **EMP NS Connection 実行時のエラーメッセージ**

■プロジェクターとの接続に失敗しました。

再度、接続の操作をします。それでも接続できない場合は、コンピュータ側のLAN とプロジェクター側のNetwork Screen のネットワーク詳細設定を確認してください。ネットワーク詳細設定について ●『EasyMP セットアップガイド』「簡単接続モードで接続する」、「アクセスポイントモードまたは有線LAN接続モードで接続する」

■キーワードが一致しません。プロジェクターに表示された、正しいキーワードを入力してください。

プロジェクターの接続待機画面に表示されているプロジェクターキーワードを確認し、そのプロジェクターキーワードを入力してください。

■接続したいプロジェクターをリストから選択してください。

接続したいプロジェクター名にチェックマークを付けてから、「接続」ボタンをクリック してください。

接続方法について 

● 『EasyMP セットアップガイド』「簡単接続モードで接続する」、
「アクセスポイントモードまたは有線 LAN 接続モードで接続する」

- ■選択されたプロジェクターは使用中です。接続処理を続行しますか? 別のコンピュータが接続しているプロジェクターに接続しようとしました。 「はい」または「OK」ボタンをクリックすると、プロジェクターと接続します。このと き、接続していた別のコンピュータとプロジェクターの接続は切断されます。 「いいえ」または「キャンセル」ボタンをクリックすると、プロジェクターと接続しません。 別のコンピュータとプロジェクターの接続は保持されます。
- ■EMP NS Connection の初期化に失敗しました。

EMP NS Connection をいったんアンインストールして、その後もう一度 EMP NS Connectionをインストールしてください。

- ■『EasyMP セットアップガイド』「EasyMP Software のアンインストール」、「EasyMP Software のインストール」
- ■プロジェクターとの通信エラーが発生しました。プロジェクターへの再接続を実施します。よろしいですか?

コンピュータとプロジェクターの間で通信エラーが発生し、接続が切断されました。 「はい」ボタンをクリックすると、再接続を行います。それでも接続できない場合は、コンピュータ側のLAN とプロジェクター側のNetwork Screen のネットワーク詳細設定を確認してください。

●『EasyMP セットアップガイド』「簡単接続モードで接続する」、「アクセスポイントモードまたは有線 LAN 接続モードで接続する」

「いいえ」ボタンをクリックすると、切断された状態のままメッセージ画面を閉じます。

■キーワードが間違っていたため接続できないプロジェクターがあります。

プロジェクターキーワードが設定されているプロジェクターへの接続時に、間違ったプロジェクターキーワードを入力しました。

プロジェクターキーワードは、プロジェクターの接続待機画面に表示されていますので確認してください。

- ●『EasyMP セットアップガイド』「簡単接続モードで接続する」、「アクセスポイントモードまたは有線 LAN 接続モードで接続する」
- ■ネットワークアダプタの情報取得に失敗しました。ネットワークの設定 を確認し再度起動してください。

次の点を確認します。

- コンピュータにネットワークアダプタが装着されていますか。
- ・コンピュータに、使用するネットワークアダプタのドライバがインストールされていますか。

確認後、コンピュータを再起動して、もう一度接続の操作を行います。

それでも接続できない場合は、次を確認してください。

コンピュータ側のLAN とプロジェクター側のNetwork Screen のネットワーク詳細設定を確認してください。

ネットワーク詳細設定について ●『EasyMP セットアップガイド』「簡単接続モードで接続する」、「アクセスポイントモードまたは有線 LAN 接続モードで接続する」

■SXGA を超える解像度をサポートしていないプロジェクターがあります。 パソコンの解像度を下げて再接続してください。

コンピュータの画面の解像度を、SXGA (1280 × 1024) 以下に変更してください。

■応答しないプロジェクターが存在します。

複数のプロジェクターに同時に接続しようとしましたが、そのうち1台または複数台のプロジェクターに接続できませんでした。接続できたプロジェクターはそのまま使用できます。接続できなかったプロジェクターに接続したい場合は、いったん接続を切断してからもう一度接続してください。それでも接続できない場合は、コンピュータ側のLAN とプロジェクター側の Network Screen のネットワーク詳細設定を確認してください。ネットワーク詳細設定について ●『EasyMP セットアップガイド』「簡単接続モードで接続する」、「アクセスポイントモードまたは有線LAN 接続モードで接続する」

- ■プロジェクターに表示されたキーワードを入力してください。 プロジェクターの接続待機画面に表示されているプロジェクターキーワードを確認し、そ のプロジェクターキーワードを入力してください。
- ■指定した IP アドレスのプロジェクターは見つかりませんでした。

接続したいプロジェクターで Network Screen のネットワーク詳細設定がアクセスポイントモードまたは有線 LAN 接続モードに設定されているか確認します。 簡単接続モードに設定されている場合はアクセスポイントモードまたは有線 LAN 接続モードに設定を変更します。次に、アクセスポイントモード詳細設定画面または有線 LAN 詳細設定画面で、「IP アドレス」を確認し、その「IP アドレス」を IP 指定接続モード接続時に指定してください。

●『EasyMP セットアップガイド』「接続したいプロジェクターが表示されないときは」 それでも接続できない場合は、コンピュータ側の LAN とプロジェクター側の Network Screen のネットワーク詳細設定を確認してください。

ネットワーク詳細設定について ● 『EasyMP セットアップガイド』「簡単接続モードで接続する」、「アクセスポイントモードまたは有線 LAN 接続モードで接続する」

■パソコンの画面の領域が、XGA(1024x768pixel) より大きい場合、画像転送のパフォーマンスが低下します。接続処理を続行しますか?

プロジェクターに接続するコンピュータの画面の 解像度が XGA(1024 × 768)を超えています。

「はい」または「OK」をクリックすると、プロジェクターと接続します。ただし、投写画面の表示速度が遅くなります。投写画面の表示速度が遅くなることを避けたい場合は、「いいえ」または「キャンセル」をクリックして、コンピュータの画面の解像度を XGA (1024 × 768) 以下に変更してください。

■パソコンの画面の色が 24 ビット以上の場合、画像転送のパフォーマンスが低下します。NS Connectionはパフォーマンスの低下を軽減するために16ビットに変換して接続します。接続処理を続行しますか?(Windows)パソコンのディスプレイの解像度が、XGA(1024 × 768pixel)より大きい場合、またはディスプレイ表示色が32 ビット以上の場合は画像転送のパフォーマンスが低下します。接続処理を続行しますか?(Macintosh)「はい」または「OK」をクリックすると、プロジェクターと接続します。ただし、パフォーマンスは低下します。

### **■EMP SlideMaker2 実行時のエラーメッセージ**

- ■\*\*.SIT は既に登録されています。
  - (\*\* はシナリオファイル名)

すでに「オートランシナリオファイルリスト」に追加されているシナリオファイルを、もう一度追加することはできません。 ☞ 『EasyMP 活用ガイド』「シナリオの転送」

■ディスクの空き容量が不足しています。

不要なファイルを削除するなどして、シナリオファイルを転送できるように転送先ドライブの空き容量を確保してください。

- ■\*\* には無効なパスが含まれています。
  - (\*\* はシナリオファイル名を含むパス名)

「ファイル」-「開く」を選択して目的のシナリオファイルを開くか、Windows のファイル検索機能などを使って検索してください。

- ■\*\* へのアクセス中にディスクがいっぱいになりました。
  - (\*\* はシナリオファイル名を含むパス名)

不要なファイルを削除するなどして、シナリオファイルを保存できるように作業用フォル ダがあるドライブの空き容量を確保してください。

■指定されたドキュメントはオープンできません。

シナリオに追加しようとした PowerPoint ファイルが壊れているか、正しくないため使用で きません。他の PowerPoint ファイルを使用してください。

■違う名前か、違うディレクトリを指定してください

同名のファイルや作業用フォルダがすでに存在しています。シナリオ名または作業用フォルダ名を変更して、保存してください。

### **■EMP Monitor 実行時のエラーメッセージ**

#### ■パスワードが正しくありません。

正しいパスワードを入力してください。パスワードを忘れてしまった場合は、プロジェクターのNetwork Screen のネットワーク詳細設定で「WEB コントロール用パスワード」を確認してください。

#### ■入力された IP アドレスのプロジェクターに接続できません。

接続したいプロジェクターで Network Screen のネットワーク詳細設定がアクセスポイントモードまたは有線 LAN 接続モードに設定されているか確認します。簡単接続モードに設定されている場合はアクセスポイントモードまたは有線 LAN 接続モードに設定を変更します。次に、アクセスポイントモード詳細設定画面または有線 LAN 詳細設定画面で、「IP アドレス」を確認し、その「IP アドレス」を IP 指定接続モード接続時に指定してください。

■『EasyMP セットアップガイド』「接続したいプロジェクターが表示されないときは」 それでも接続できない場合は、コンピュータ側のLAN とプロジェクター側の Network Screen のネットワーク詳細設定を確認してください。

ネットワーク詳細設定について ● 『EasyMP セットアップガイド』「アクセスポイントモードまたは有線 LAN 接続モードで接続する」



# 付 録

ここでは、メンテナンス方法など、本機を今後も長くご使用いただくための補足的な知識について説明しています。

| お手入れの方法78                 |
|---------------------------|
| ● 各部の掃除78                 |
| <ul><li>・本体の掃除</li></ul>  |
| ・レンズの掃除78                 |
| ・エアーフィルタの掃除79             |
| ● 消耗品の交換80                |
| ・電池の交換方法80                |
| ・ランプの交換時期8                |
| ・ランプの交換方法                 |
| ・ランプ点灯時間の初期化              |
| ・エアーフィルタの交換方法             |
| ユーザーロゴの登録85               |
| オプション品一覧87                |
| 用語解説                      |
| ESC/VP21 コマンド一覧90         |
|                           |
| ● コマンドリスト                 |
| ● USB 通信の準備               |
| 対応解像度一覧92                 |
| <ul><li>・コンピュータ</li></ul> |
| ・コンポーネントビデオ9:             |
| ・コンポジットビデオ /S- ビデオ 9:     |
| 仕様一覧94                    |
| 外形寸法図96                   |
| 索引97                      |
|                           |

# お手入れの方法

ここでは、お手入れの方法や消耗品の交換などのメンテナンスについて説明しています。

# 各部の掃除

本体が汚れたり、映像の写りが悪くなったら掃除をしてください。



掃除を行う前に、別冊の『安全にお使いいただくために/サポートとサービスのご案内』を必ずお読みください。

# ■本体の掃除

本体の汚れは柔らかい布で軽くふき取ってください。 汚れがひどいときは、水で薄めた中性洗剤に布をひたしてかたくしぼり、軽くふき取ってから乾いた布で仕上げてください。



ワックス、ベンジン、シンナーなど揮発性のものは使わないでください。 ケースが変質したり、塗料がはげたりすることがあります。

# ┃レンズの掃除

レンズの汚れは、市販のブローワーやレンズクリーニングペーパーなどで軽くふき取ってください。



レンズの表面は傷つきやすいので、かたいものでこすったり、たたいたりしないでください。

# ■エア一フィルタの掃除

エアーフィルタにホコリがたまると、空気の通りが悪くなり、内部の温度が上昇し、故障の原因となります。

エアーフィルタのホコリは、本機を水平にしたまま、掃除機で吸い取ってください。





- エアーフィルタの汚れが落ちなくなったり、破れたりしたら交換時期ですので、販売店にご相談ください。

# 消耗品の交換

ここでは、リモコンの電池、ランプ、エアーフィルタの交換方法について説明しています。

## ■電池の交換方法

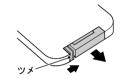
交換用の電池は、次のものをご用意ください。 リチウム電池 CR 2025 × 1 個



電池を取り扱う前に、別冊の『安全にお使いいただくために/サポートと サービスのご案内』を必ずお読みください。

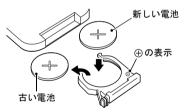
# 操作

**1 電池ホルダを外します。** 電池ホルダのツメを内側へ押さえたまま 引き出します。



**2** 古い電池を取り出し、新しい電池と交換します。

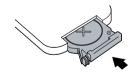
新しい電池は、電池ホルダ内の(+)の表示を確認し、向きを間違えないようにセットします。



**3 電池ホルダを取り付けます。** カチッと音がするまでホルダを押し込み ます。



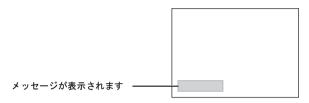
使用済みの電池は、地域の廃棄ルール に従って廃棄してください。



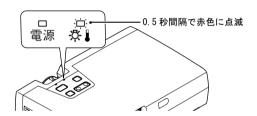
# ▋ランプの交換時期

次のときは、ランプを交換してください。

● 投写を開始したときに「投写ランプを交換してください」とメッセージが 30 秒間表示されたとき



☆ 『インジケータが 0.5 秒間隔で赤色に点滅したとき



初期に比べ、明るさや画質が落ちたとき



- 交換表示は、初期の明るさや画質を維持するため、約1400時間で表示されます。交換時期を超えて使い続けると、ランプが破裂する可能性が一段と高くなります。ランプ交換のメッセージが表示されたら、まだランプが点灯する状態でも、すみやかに新しいランプと交換してください。
- 交換表示は約1400時間で出ますが、個々のランプの特性や使用条件などで、1400時間前に暗くなったり、点灯しなくなるものがあります。交換用ランプをあらかじめ準備しておくことをお奨めします。
- 交換用ランプはお近くのエプソン商品取扱店および、エプソンのAサプライ株式会社フリーダイヤル0120-251528でお買い求めください。

# ▋ランプの交換方法



ランプが十分冷えてからランプカバーを外してください。ランプが十分冷えるには、クールダウン<sup>▶</sup>後、約1時間必要です。

# 操作

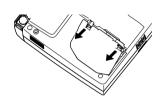
1 本体の電源を切り、クールダウンが終了してから、電源ケーブルを外します。 クールダウンの時間は、約45秒です。この時間は外気温などによって変わります。



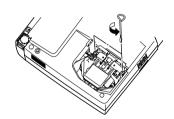
**2** ランプが十分冷えてから、本体底面のランプカバーを外します。

ランプが十分冷えるには、クールダウン後 約1時間必要です。

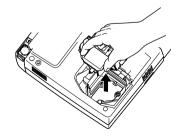
2 箇所のフック部分を押さえたまま、引き起こしてから取り外します。



**3** ランプ固定ねじ2本をゆるめます。 ランプを本体に固定しているランプ固定 ねじ2本を、交換用ランプに同梱のドライ バ、または+のドライバでゆるめます。

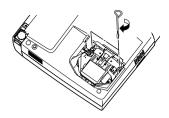


**4** 古いランプを取り外します。 くぼみに指を入れ、ランプをつまんで引き 上げます。



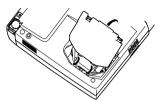
# 5 新しいランプを取り付けます。

ランプを収納部の形に合う向きにして、カチッと音がするまで押し込み、ランプ固定ねじ2本を締めます。



6 ランプカバーを取り付けます。

カバーの $2 \gamma$ 所のyメを本体に差し込み、 反対側をカチッと音がするまで押し込み ます。





- ランプは確実に取り付けてください。本機は安全のため、ランプカバーを外すと自動的にランプが消灯します。ランプやランプカバーの取り付けが不十分だとランプが点灯しません。
- 交換用ランプに交換用エアーフィルタが同梱されています。ランプ交換時に合わせて交換してください。
- 使用済みのランプは、地域の廃棄ルールに従って廃棄してください。

## ▋ランプ点灯時間の初期化

本機にはランプ点灯時間のカウンタが内蔵されており、カウンタの累積が一定時間に達すると、ランプ交換の表示を行います。 したがって、ランプ交換を実施した後は、環境設定メニューでランプ点灯時間のカウンタを初期化する必要があります。

ランプ点灯時間初期化の操作はリモコンを使って行います。



ランプ点灯時間の初期化は、ランプを交換したとき以外は行わないでください。ランプの交換時期が正しく表示されなくなります。

# 操作

**1** 電源ケーブルを接続し、本機の電源を入れ、リモコンの[メニュー] ボタンを押します。

環境設定メニューが表示されます。



**2** 「情報」-「ランプ点灯時間初期化」の項目を選択し、[決定]ボタンを押します。

**3** 「はい」を選択して、[決定] ボタンを押します。

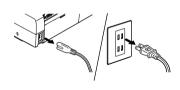
ランプ点灯時間が初期化されます。



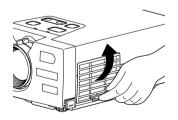
## 【エアーフィルタの交換方法

# 操作

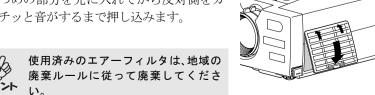
**1** 本機の電源を切り、<u>クールダウン</u>
かが終了してから電源ケーブルを外します。
クールダウンの時間は、約45秒間です。この時間は、外気温などによって変わります。



2 エアーフィルタのフック部分のくぼみ に指をかけて持ち上げ、エアーフィルタ を外します。



**3** 新しいエアーフィルタをセットします。 つめの部分を先に入れてから反対側をカ チッと音がするまで押し込みます。





# ューザーロゴの登録

現在表示している映像をユーザーロゴとして登録します。 ユーザーロゴの登録の操作はリモコンを使って行います。



ユーザーロゴの登録を実行すると、現在登録されているユーザーロゴは 消去されます。

# 操作

- 1 ユーザーロゴとして登録したい映像を投写し、リモコンの「メニュー」ボ タンを押します。
- 2「ユーザーロゴ」メニューを選択し、 「決定〕ボタンを押します。



台形補正やEズームを行っている 場合、「ユーザーロゴ」を選択する ポイントと、台形補正やEズームは解除さ れます。



**3** サブメニューで「はい」を選択し、 「決定」ボタンを押します。



「決定〕ボタンを押すと、リサイ ズ表示┡が解除されるため、本 機のパネル画素数以外の解像度の 映像を投写している場合と、ビデ オ映像を投写しているときは、表 示サイズが変わります。



▲ 登録する映像と選択枠が表示され るので、使う位置を選択します。 [▲][▼][◄][▶] ボタンを押して、 ユーザーロゴとして使いたい部分を 選択したのち、「決定」ボタンを押し ます。



登録できるサイズは 480 × 360 ドットです。



**5** 使用確認画面で「はい」を選択し、 [決定]ボタンを押します。



**6** 表示倍率設定画面で倍率を選択し、 [決定]ボタンを押します。



7 保存確認画面で「はい」を選択し、 [決定]ボタンを押します。 映像が保存されます。保存が終了 すると「ユーザーロゴの設定が終了 しました。」とメッセージが表示 されます。





- 保存にはしばらく時間がかかります(約15秒)。保存している間は、プロジェクターや接続している機器を操作しないでください。故障の原因になります。
- ユーザーロゴは一度登録すると、初期設定状態には戻せません。

# オプション品一覧

下記のオプション品を用意しています。用途に合わせてお買い求めください。 これらのオプション品類は 2003 年 10 月現在のものです。予告なく変更することがありますので、ご了承ください。

#### ソフトキャリングケース FI PKS16

ハンドキャリングするときに使います。

#### 交換用ランプ ELPLP18

使用済みランプと交換します。

#### 携帯スクリーン (50 型 ) ELPSC06

持ち運びに便利なコンパクトスクリーンです。(アスペクト比▶4:3)

#### 60 型スクリーン FI PSC07

80 型スクリーン ELPSC08

100 型スクリーン ELPSC10

携帯型ロールスクリーンです。(アスペクト比4:3)

#### コンピュータケーブル FIPKC02

( $\lesssim = D-Sub$  15pin/ $\lesssim = D-Sub$  15pin 用 1.8m)

本機にコンピュータを接続して投写したいときに本ケーブルを使います。

#### コンピュータケーブル FIPKC09

( $\lesssim = D-Sub$  15pin/ $\lesssim = D-Sub$  15pin 用 3m)

#### コンピュータケーブル FIPKC10

( $\lesssim = D-Sub$  15pin/ $\lesssim = D-Sub$  15pin 用 20m)

製品同梱のコンピュータケーブルでは短いときの延長ケーブルです。

#### コンピュータケーブル ELPKC11

(ミニ D-Sub 15pin/5BNC 用 1.8m)

5BNC 端子のコンピュータと接続するときに使います。

#### D 端子ケーブル FI PKC22

(ミニ D-Sub 15pin/D 端子用 3m)

BSデジタル放送チューナと接続するときに使います。

### コンポーネントビデオケーブル ELPKC19

(ミニ D-Sub 15pin/RCA  $\times$  3 用 3m)

コンポーネントビデオ▶を投写するときに使います。

### 天吊り金具<sup>※</sup> ELPMB10

本機を天井に取り付けるときに使います。

#### 天井プレート<sup>※</sup> FLPFC03

パイプ 370 (370mm シルバー) ※ ELPFP04

パイプ 570 (570mm シルバー) ※ FLPFP05

パイプ 770 (770mm シルバー) ※ ELPFP06

高天井および化粧天井に取り付けるときに使います。

#### マルチメディアビューワー ELPDC04

書籍やOHP原稿、スライドを投写するときなどに使います。

※天吊り設置には特別な技術が必要となります。お買い求めいただいた販売店 にご相談ください。

# 用語解説

本書で使用している用語で、本文中に説明がなかったもの、あるいは難しいものを簡単に説明します。詳細に付いては市販の書籍などを利用してください。

| 5BNC        | アナログのビデオ信号を入力するコネクタです。   |
|-------------|--|
| EMP Link21L | 本機をコンピュータと接続して、コンピュータから本機の制御を行うユーティリティソフトです。ご提供方法やソフトの詳細についてはホームページ「I Love EPSON」(本書裏表紙に記載)をご覧ください。  |
| HDTV        | High-Definition Televisionの略で、次の条件を満たす高精細なシステムに適用されます。 ・垂直解像度 750p、1125i 以上 (pはプログレッシブ・・ 走査、i はインタレース・・ 走査) ・画面のアスペクト比・は 16:9 ・ドルビーデジタル・・ 音声の受信、再生(あるいは出力) |
| S-ビデオ       | ビデオの明るさ信号や色信号を分けて、高画質を追求する信号です。<br>Y(輝度信号)C(色信号)の2つの独立した信号からできている映像をいいます。  |
| SDTV        | Standard Definition Television の略で、 <u>HDTV</u> →の条件を満たさない標準テレビジョン放送のことです。   |
| SNMP        | Simple Network Management Protocol の略で、TCP/IPネットワークにおいて、ルータ、コンピュータなど、ネットワークに接続された通信機器をネットワーク経由で監視・制御するためのプロトコルです。  |
| sRGB        | 各画像装置が表現する色をコンピュータのオペレーティングシステム (0S) やインターネットで簡単に扱うために規定された色空間に関する国際標準です。  |
| SVGA        | IBM PC/AT 互換機 (DOS/V 機) の信号で横 800 ドット×縦 600 ドットのものを呼びます。   |
| SXGA        | IBM PC/AT 互換機 (DOS/V 機) の信号で横 1,280 ドット×縦 1,024 ドットのものを呼びます。   |
| USB         | Universal Serial Bus の略で、比較的低速な周辺機器とパソコン間を接続するためのインターフェイスです。   |
| UXGA        | IBM PC/AT 互換機 (DOS/V 機) の信号で横 1,600 ドット×縦 1,200 ドットのものを呼びます。   |
| VGA         | IBM PC/AT 互換機 (DOS/V 機) の信号で横 640 ドット×縦 480 ドットのものを呼びます。   |
| XGA         | IBM PC/AT 互換機 (DOS/V 機) の信号で横 1,024 ドット×縦 768 ドットのものを呼びます。   |
| YCbCr       | 現行のテレビ (NTSC 方式) で、カラーバー信号波の中にある伝送用信号のことです。Y(輝度信号)CbCr(クロマ(色)信号)で表します。   |
| YPbPr       | ハイビジョンで、カラーバー信号波の中にある伝送用信号のことです。 Y(輝度信号) PbPr(色差信号) で表します。   |
| アスペクト比      | 画面の縦と横の比率をいいます。縦横の比率が16:9と横長になっている画面をワイド画面といいます。標準画面のアスペクト比は4:3です。   |
| 色温度         | 光を発する物体の温度をいいます。色温度が高いと青みがかった色合いになり、色温度が低いと赤みがかった色合いになります。   |
| インタレース      | 1つの画面を表示するときに情報を横方向に細かい線に分け、左から右へ、<br>上から下へ順次表示させます。このとき偶数線分と奇数線分を交互に表示<br>する方法をいいます。  |

| クールダウン         | 投写によって高温になっているランプを冷却する処理です。本体、または<br>リモコンの[電源]ボタンを押し電源を切ると自動的に行われます。クー<br>ルダウン中は、電源プラグを抜かないでください。クールダウンが正しく<br>行われなくなるため、ランプや本機内部に高熱がこもったままとなり、ラ<br>ンプの寿命が短くなったり、本機の故障の原因となります。クールダウン<br>時間は、約45秒です。この時間は外気温等によって変わります。 |
|----------------|---|
| コントラスト         | 色の明暗の差を強くしたり弱くしたりすることにより、文字や絵がハッキリ見えたり、ソフトに見えたりすることです。この調整をコントラストの調整といいます。  |
| コンポーネ<br>ントビデオ | ビデオの明るさ信号や色信号を分けて、高画質を追求する信号です。<br>ハイビジョンにおいて、Y(輝度信号)Pb、Pr(色差信号)の3つの独立した<br>信号からできている映像をいいます。   |
| コンポジット<br>ビデオ  | ビデオの明るさ信号や色信号を混合した、一般的な家庭用ビデオ信号 (NTSC、PAL、SECAM) です。<br>カラーバー信号の中の伝送用信号 Y(輝度信号)とクロマ(色)信号からできている映像をいいます。   |
| スクイーズ<br>モード   | 16:9の横長ワイド映像を水平方向に圧縮して、4:3の映像としてビデオソフトに収録する方法です。本機ではアスペクト比を「16:9」に設定すると、元の16:9のワイド映像に戻ります。  |
| 同期<br>(Sync.)  | コンピュータから出力される信号は、ある決まった周波数で出力されます。その周波数にプロジェクターの周波数を合わせないときれいな映像になりません。信号の位相(山のずれ)を合わせることを同期を合わせるといいます。同期が合っていないと投写映像にちらつき、ぼやけ、横方向のノイズが出ます。   |
| 盗難防止用<br>ロック   | プロジェクターのケースに備え付けられた穴に市販の盗難防止用ケーブルを通し、机や柱などに固定できます。kensington 社製のマイクロセーバーセキュリティシステムに対応しています。日本正規輸入代理店の連絡先は、以下のとおりです。   |
|                | 七陽商事株式会社 情報機器事業部<br>〒 103-0007 東京都中央区日本橋浜町 2-55-7(ナナヨービル)<br>Tel:03-3663-7787 Fax:03-3669-2367  |
| トラッキング         | コンピュータから出力される信号は、ある決まった周波数で出力されます。その周波数にプロジェクターの周波数を合わせないときれいな映像になりません。信号の周波数(山の数)を合わせることをトラッキングを合わせるといいます。トラッキングが合っていないと投写映像に幅広の縦の縞模様が出ます。   |
| ドルビー<br>デジタル   | ドルビー研究所で開発されたサウンド方式です。通常のステレオは2つのスピーカを用いた2ch方式ですが、ドルビーデジタルは、それにセンタースピーカ、リア2chスピーカ、サブウーファを追加した6ch(5.1ch)方式となっています。   |
| プログレッ<br>シブ    | 1つの画面を作り出す情報を上から下へ順次走らせて一画面を構成する方式をいいます。  |
| リサイズ<br>表示     | 本機のパネルサイズの画素数より多い、あるいは少ない解像度のコンピュータからの映像も表示サイズいっぱいになるように投写する機能です。   |
| リフレッシュ<br>レート  | ディスプレイの発光体は、その明るさと色をごく短時間保持します。そのため発光体をリフレッシュするために1秒間に何度も画像を走査しなければなりません。その速度をリフレッシュレートと呼び、ヘルツ (Hz) で設定します。   |

# ESC/VP21 コマンド一覧

# コマンドリスト

プロジェクターに電源 ON のコマンドを送信すると、プロジェクターがウォームアップ状態になります。電源 ON の状態になった時にコロン':'を返信します。

プロジェクターはコマンドを実行後、':'を返信し、次のコマンドを受け付けます。

異常終了の場合は、エラーメッセージを出力した後に':'を送信します。

|                  | コマンド               |           |
|------------------|--------------------|-----------|
| 電源の ON/OFF       | ON                 | PWR ON    |
| 电//ボック OIV/ OI T | OFF                | PWR OFF   |
|                  | コンピュータ             | SOURCE 11 |
|                  | コンポーネントビデオ (YCbCr) | SOURCE 14 |
| 信号切り替え           | コンポーネントビデオ (YPbPr) | SOURCE 15 |
|                  | ビデオ                | SOURCE 41 |
|                  | S-ビデオ              | SOURCE 42 |
| ミュート機能の ON/OFF   | ON                 | MUTE ON   |
| ミュート機能のMVPF      | OFF                | MUTE OFF  |
|                  | 黒                  | MSEL 00   |
| ミュート機能の切り替え      | 青                  | MSEL 01   |
|                  | ユーザーロゴ             | MSEL 02   |

# USB 通信の準備

本機を ESC/VP21 コマンドで制御するには、本機とコンピュータを USB ケーブル で接続して行います。 USB 接続による通信を行うには、事前に次の準備が必要です。

# 操作

- **1** エプソンホームページ「I Love EPSON」からお使いのコンピュータに「EMP Link21L<sup>▶</sup>」をダウンロードします。
  URLは裏表紙をご覧ください。
- **2** USB 通信ドライバ (USB-COM Driver) が同時にダウンロードされるので、 お使いのコンピュータにそのUSB通信ドライバをインストールします。 インストールの詳細は、同時にダウンロードされる『EMP Link21L ユー ザーズガイド』をご覧ください。
- **3** 本機の環境設定メニューで「高度な設定」-「Link 21L」を「ON」に設定します。
- ▲ 本機の電源を切ります。
- **5** <u>クールダウン</u><sup>▶</sup>が終了後、本機に接続している電源ケーブルの電源プラグを 抜いて、差し直します。
- **6** 本機の電源を入れます。 本機の電源を入れ直した以降、USB接続による通信が可能になります。

# 対応解像度一覧

# コンピュータ

| 信号                   | <u>リフレッシュレート</u> → (Hz)  | 解像度<br>( ドット )     | <u>リサイズ表示</u> 時<br>使用画素数<br>(ドット) |
|----------------------|--------------------------|--------------------|-----------------------------------|
| PC98                 |                          | $640 \times 400$   | $1024 \times 640$                 |
| <u>VGA</u> ▶▶        | 60                       | $640 \times 480$   | $1024 \times 768$                 |
| VGACGA               |                          | $640 \times 400$   | $1024 \times 640$                 |
| VGAEGA               |                          | $640 \times 350$   | $1024 \times 560$                 |
| VGA text             |                          | $720 \times 400$   | $1024 \times 568$                 |
| von text             |                          | $720 \times 350$   | $1024 \times 498$                 |
| VESA                 | 60/72/75/85, iMac **     | $640 \times 480$   | $1024 \times 768$                 |
| <u>SVGA</u> ▶▶       | 56/60/72/75/85, iMac **  | 800 × 600          | $1024 \times 768$                 |
| XGA▶▶                | 43i/60/70/75/85, iMac ** | $1024 \times 768$  | $1024 \times 768$                 |
| SXGA                 | 70/75/85                 | $1152 \times 864$  | $1024 \times 768$                 |
| SXGA                 | 60/75/85                 | $1280 \times 960$  | $1024 \times 768$                 |
| SXGA                 | 43i/60/75/85             | $1280 \times 1024$ | $960 \times 768$                  |
| UXGA►                | 48i/60                   | $1600 \times 1200$ | $1024 \times 768$                 |
| MAC13"               |                          | $640 \times 480$   | $1024 \times 768$                 |
| MAC16"               |                          | $832 \times 624$   | $1024 \times 768$                 |
| MAC19"               |                          | $1024 \times 768$  | $1024 \times 768$                 |
| MAC19"               | 60                       | $1024 \times 768$  | $1024 \times 768$                 |
| MAC21"               |                          | $1152 \times 870$  | $1016 \times 768$                 |
| <u>SDTV</u> → (625i) | 50                       | $720 \times 540$   | $1024 \times 768$                 |
| SDTV(525i)           | 60                       | $640 \times 480$   | $1024 \times 768$                 |
| SDTV (525p)          | 60                       | $640 \times 480$   | $1024 \times 768$                 |
| <u>HDTV</u> → (750p) | 60                       | $1280 \times 720$  | $1024 \times 576$                 |
| HDTV(1125i)          | 60                       | $1920 \times 1080$ | $1024 \times 576$                 |

<sup>※</sup> VGA 出力ポートが装着されていない機種には接続できません。

上記以外の信号が入力された場合でも、映像を投写できることがあります。ただし、この場合、機能が制限されることがあります。

# コンポーネントビデオ

| E-0                             | 使用画素数(ドット)          |                   |  |
|---------------------------------|---------------------|-------------------|--|
| 信号                              | <u>アスペクト比</u> ▶ 4:3 | アスペクト比 16:9       |  |
| <u>SDTV</u> → (525i) (D1)       | $1024 \times 768$   | $1024 \times 576$ |  |
| SDTV (625i)                     | $1024 \times 768$   | $1024 \times 576$ |  |
| SDTV (525p) (D2)                | $1024 \times 768$   | $1024 \times 576$ |  |
| <u>HDTV</u> → (750 p) 16:9 (D4) | $1024 \times 768$   | $1024 \times 576$ |  |
| HDTV (1125i) 16:9 (D3)          | $1024 \times 768$   | $1024 \times 576$ |  |

# **■コンポジットビデオ /S−ビデオ**

| E-0             | 使用画素数(ドット)          |                   |  |
|-----------------|---------------------|-------------------|--|
| 信号              | <u>アスペクト比</u> ▶ 4:3 | アスペクト比 16:9       |  |
| TV (NTSC)       | $1024 \times 768$   | $1024 \times 576$ |  |
| TV (PAL, SECAM) | $1024 \times 768$   | $1024 \times 576$ |  |

# 仕様一覧

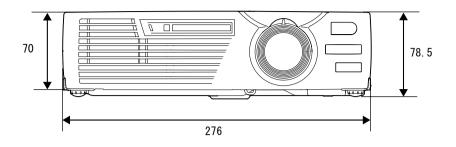
| 商品名     | マルチメディアプロジェクター ELP-735                                       |
|---------|--|
| 外形寸法    | 幅 276×高さ 70×奥行き 190mm(フット含まず)                                |
| パネルサイズ  | 0.9型   |
| 表示方式    | ポリシリコン TFT アクティブマトリクス  |
| 画素数     | <u>XGA</u> → 786, 432 個(横 1024 ×縦 768 ドット)× 3                |
| フォーカス調整 | 手動   |
| ズーム調整   | 手動 (約1:1.16)   |
| ランプ(光源) | UHE ランプ 定格 150W 型番: ELPLP18                                  |
| 音声最大出力  | 1Wモノラル   |
| スピーカ    | 1個   |
| 電源      | 100-240V ± 10%、50/60Hz AC<br>定格消費電力 225W スタンバイ時 5.5W(100V 時) |
| 使用温度範囲  | +5℃~+35℃(結露しないこと)  |
| 保存温度範囲  | - 10 ℃~+60 ℃ (結露しないこと)                                       |
| 質量      | 約 1. 9kg   |
| 接続端子    | コンピュータ /<br>コンポーネントビデオ端子: 1 系統 ミニ D-Sub 15pin(メス)            |
|         | 音声入力端子: 1系統 ステレオミニジャック                                       |
|         | ビデオ端子: 1 系統 RCA ピンジャック                                       |
|         | S-ビデオ端子: 1 系統 ミニ DIN 4pin                                    |
|         | USB 端子 <sup>※</sup> : 1 系統 USB コネクタ (B タイプ )                 |

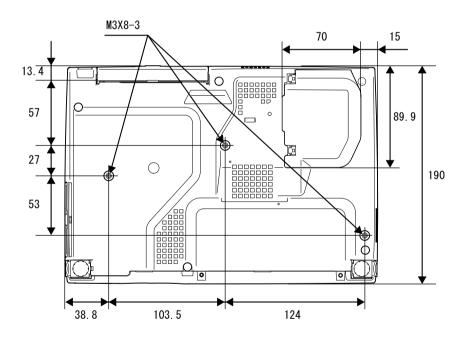
<sup>※</sup>USB1.1に対応しています。USB端子は、USB対応機器すべての動作を保証するものではありません。

## Safety

```
European Community
 The Low Voltage Directive (73/23/EEC)
   IEC60950 2<sup>nd</sup> Edition, +Amd.1, +Amd.2, +Amd.3, +Amd.4
EMC
USA
  FCC 47CFR Part15B Class B (DoC)
Canada
  ICES-003 Class B
European Community
 The EMC Directive (89/336/EEC)
    EN55022, 1998 Class B
    EN55024, 1998
        IEC61000-4-2, IEC61000-4-3, IEC61000-4-4, IEC61000-4-5,
        IEC61000-4-6, IEC61000-4-8, IEC61000-4-11,
        IEC61000-3-2, IEC61000-3-3
Australia/New Zealand
  AS/NZS 3548:1995, A1:1997, A2:1997 Class B
 CISPR Pub.22:1993, A1:1995, A2:1996, Class B
```

# 外形寸法図





単位:mm

# 索引

| 数字・アルファベット  | 音声入力端子8                          |
|---|----------------------------------|
| 13w3端子17  | 「音声」メニュー                         |
| 2RCA (L · R) /  | 音量48                             |
| $2RCA(L \cdot R)/$ ステレオミニピンケーブル 18,24   | -                                |
| 5BNC 端子   | カ                                |
|   | 解像度92                            |
| $A/V \lesssim z - 1 \qquad \qquad$ | 各部の名称と働き6                        |
| Analog-RGB  | カラー調整                            |
| BS デジタルチューナの映像 23   | カラーモード                           |
| D 端子ケーブル  | カラーモード表示49                       |
| E ズーム43   | 環境設定メニューの機能と操作44                 |
| EasyMP  | 吸気口                              |
| ESC/VP21 90   | クールダウン                           |
| HDTV 88   | 言語52                             |
| Link 21L 52   | <sub>5</sub><br>「高度な設定」メニュー51    |
| RCA ビデオケーブル 21  | お障かなと思ったら                        |
| RGB 51  |                                  |
| sRGB 38   | コントラスト45, 46, 47<br>コンピュータとの接続14 |
| S-ビデオ22, 46, 53   | コンピュータとの接続14                     |
| S-ビデオ端子8  | コンピュータ / コンポーネントビデオ端子8           |
| USB ケーブル19  | コンポーネントビデオ22                     |
| USB 端子8   | コンポーイントピテオ                       |
| USB 通信91  | コンホンツトロケオ21                      |
| USB マウス19   | サ                                |
| YCbCr/YPbPr 28, 46, 53  |                                  |
| アイウエオ   | サブメニュー44                         |
| 71.71   | 自動セットアップ                         |
| ア   | 自動台形補正                           |
| 明るさ45,46  | シャープネス 45, 46, 47                |
| アスペクト比  | 周波数                              |
| 異常 / 警告インジケータ 6   | 終了方法29                           |
| 色合い   | 仕様一覧94                           |
| 色温度   | 使用温度範囲                           |
| 色の濃さ  | 上下反転12,51                        |
| インジケータ  | 「情報」メニュー53                       |
| ウォームアップ 59  | ズームリング6                          |
| エアーフィルタの交換方法 84   | スクイーズモード42                       |
| エアーフィルタの掃除  | スクリーンサイズ13                       |
| 映像ソース 53  | スタートアップスクリーン51                   |
| 映像  | スタンバイ状態59                        |
| オーバーヒート   | ステレオミニピンオーディオケーブル 18, 24         |
| オプション品 87   | スピーカ8, 18, 24                    |
| 21 2 2 3 2 HH 8/  |                                  |

| 静止 41            | ビデオ映像47,53          |
|------------------|---------------------|
| 接続できるコンピュータ14    | ビデオ機器との接続21         |
| 接続端子 8,28        | ビデオ信号方式47,53        |
| 設置方法 12          | ビデオ端子8              |
| 「設定」メニュー 49      | 表示位置35, 45, 46      |
| 「全初期化」メニュー 54    | ピント                 |
| 操作可能距離 (リモコン) 11 | フォーカスリング6           |
| 操作可能範囲 (リモコン) 11 | フット調整33             |
| 操作パネル 7          | フロントフット             |
|                  | ヘルプ機能58             |
| タ                | 保存温度範囲94            |
|                  | 本体の掃除               |
| 対応解像度 92         |                     |
| 待機モード 52         | マ                   |
| 台形にゆがむ場合の手動補正 34 | マウスポインタ19           |
| 台形補正 32, 34, 49  | ミニ D-Sub 15pin 端子15 |
| 電源インジケータ6        | ミュート40,49           |
| 電源ケーブル 26        | メニュー44              |
| 電源端子8            |                     |
| 電池の交換 80         | ヤ                   |
| 電池ホルダ 80         | ユーザーロゴ85            |
| 天吊固定部 8,96       | 「ユーザーロゴ」メニュー50      |
| トーン 48           | 用語解説88              |
| 同期 (Sync.)       |                     |
| 同期極性 53          | ラ                   |
| 同期モード 53         | ランプ点灯時間53           |
| 投写 27            | ランプ点灯時間の初期化 53,83   |
| 投写角度 32          | ランプの交換時期81          |
| 投写距離 13          | ランプの交換方法82          |
| 投写サイズ 13         | ランプカバー8             |
| 盗難防止用ロック 6       | リア12,51             |
| トップメニュー 44       | リサイズ表示92            |
| トラッキング 36,45     | リモコンg               |
|                  | リモコン受光部6,8          |
| ナ                | リモコン発光部g            |
| 入力解像度 53         | リフレッシュレート53         |
| 入力信号 45, 46, 53  | レンズの掃除78            |
| 入力表示 49          |                     |
| ノーシグナル表示49       | ワ                   |
|                  | ワイドサイズの映像42         |
| ^                | ワイヤレスマウス機能19        |
| 排信口 6            |                     |

#### **DECLARATION of CONFORMITY**

According to 47CFR, Part 2 and 15
Class B Personal Computers and Peripherals; and/or
CPU Boards and Power Supplies used with Class B
Personal Computers

We :EPSON AMERICA, INC. Located at :3840 Kilroy Airport Way

MS: 3-13

Long Beach, CA 90806

Tel :562-290-5254

Declare under sole responsibility that the product identified herein, complies with 47CFR Part 2 and 15 of the FCC rules as a Class B digital device. Each product marketed, is identical to the representative unit tested and found to be compliant with the standards. Records maintained continue to reflect the equipment being produced can be expected to be within the variation accepted, due to quantity production and testing on a statistical basis as required by 47CFR 2.909. Operation is subject to the following two conditions: (1) this device may not cause harmful interference, and (2) this device must accept any interference received, including interference that may cause undesired operation.

Trade Name :EPSON

Type of Product :Projector

Model :EMP-735 / ELP-735

# FCC Compliance Statement For United States Users

This equipment has been tested and found to comply with the limits for a Class B digital device, pursuant to Part 15 of the FCC Rules. These limits are designed to provide reasonable protection against harmful interference in a residential installation. This equipment generates, uses, and can radiate radio frequency energy and, if not installed and used in accordance with the instructions, may cause harmful interference to radio or television reception. However, there is no guarantee that interference will not occur in a particular installation. If this equipment does cause interference to radio and television reception, which can be determined by turning the equipment off and on, the user is encouraged to try to correct the interference by one or more of the following measures.

- · Reorient or relocate the receiving antenna.
- Increase the separation between the equipment and receiver.
- Connect the equipment into an outlet on a circuit different from that to which the receiver is connected.
- Consult the dealer or an experienced radio/TV technician for help.

#### WARNING

The connection of a non-shielded equipment interface cable to this equipment will invalidate the FCC Certification or Declaration of this device and may cause interference levels which exceed the limits established by the FCC for this equipment. It is the responsibility of the user to obtain and use a shielded equipment interface cable with this device. If this equipment has more than one interface connector, do not leave cables connected to unused interfaces. Changes or modifications not expressly approved by the manufacturer could void the user's authority to operate the equipment.

### ご注意

- (1) 本書の内容の一部、または全部を無断で転載することは固くお断りいたします。
- (2) 本書の内容については、将来予告なしに変更することがあります。
- (3) 本書の内容については万全を期して作成いたしましたが、万一ご不審な点や誤 り、お気付きの点がございましたら、ご連絡くださいますようお願いいたしま す。
- (4) 運用した結果の影響につきましては、(3) 項にかかわらず責任を負いかねますの でご了承ください。
- (5) 本製品がお客様により不適当に使用されたり、本書の内容に従わずに取り扱われ たり、またはエプソンおよびエプソン指定の者(裏表紙参照)以外の第三者によ り、修理、変更されたこと等に起因して生じた損害等につきましては、責任を負 いかねますのでご了承ください。
- (6) エプソン純正品、およびエプソン品質認定品以外のオプション品または消耗品を 装着してトラブルが発生した場合には、責任を負いかねますのでご了承くださ
- (7) 本書中のイラストと本体の形状は異なる場合があります。

### 本製品を日本国外へ持ち出す場合の注意

雷源ケーブルは販売国の電源仕様に基づき同梱されています。本機を販売国以外で使 用する際には、事前に使用する国の電源電圧や、コンセントの形状を確認し、その国 に合った純正電源ケーブルを現地にてお買い求めください。

#### 雷波障害自主規制について

この装置は、情報処理装置等電波障害自主規制協議会(VCCI)の基準に基づくクラス B 情報技術装置です。この装置は、家庭環境で使用することを目的としていますが、こ の装置がラジオやテレビジョン受信機に近接して使用されると、受信障害を引き起こ すことがあります。取扱説明書に従って正しい取り扱いをしてください。

### 瞬低(瞬時電圧低下)基準について

本装置は、落雷などによる電源の瞬時電圧低下に対し不都合が生じることがありま す。電源の瞬時電圧低下対策としては、交流無停電電源装置などを使用されることを お薦めします。

## 電源高調波について

この装置は、高調波抑制対策ガイドラインに適合しております。

#### 商標について

IBM、DOS/V は、International Business Machines Corp. の商標または登録商標です。 Macintosh、Mac、iMacは、Apple Computer、Inc. の登録商標です。

Windows、WindowsNT は米国マイクロソフト社の商標です。

ドルビーはドルビーラボラトリーズの商標です。

EPSON はセイコーエプソン株式会社の登録商標です。

Portions of this software are based in part on the work of the Independent JPEG

The freely available TIFF library written by Sam Leffler, Copyright © 1988-1997 Sam Leffler and Copyright © 1991-1997 Silicon Graphics, Inc., is used for loading, drawing and writing the TIFF file.

なお、各社の商標および製品商標に対しては特に注記のない場合でも、これを十分尊 重いたします。

本製品は、オープンソースソフトウェアを利用しております。

●エプソン販売のホームページ「I Love EPSON | http://www.i-love-epson.co.ip

各種製品情報・ドライバ類の提供、サポート案内等のさまざまな情報を満載したエプソンのホームページです。

エプソンなら購入後も安心。皆様からのお問い合わせの多い内容をFAQとしてホームページに掲載しております。ぜひご活用ください。 FAQ http://www.i-love-epson.co.jp/faq/

●エプソンサービスコールセンター

修理に関するお問い合わせ・出張修理・保守契約のお申し込み先

0570-004141(全国ナビダイヤル) 【受付時間】9:00~17:30 月~金曜日(祝日・弊社指定休日を除く)

\*ナビダイヤルはNTTコミュニケーションズ(株)の電話サービスの名称です。

\*携帯電話・PHS端末・CATVからはご利用いただけませんので、(042)582-6888までお電話ください。

\*新電電各社をご利用の場合、「0570」をナビダイヤルとして正しく認識しない場合があります。ナビダイヤルが使用できるよう、ご契約の新電電 会社へご依頼ください。

#### ●修理品送付・持ち込み依頼先

お買い上げの販売店様へお持ち込みいただくか、下記修理センターまで送付願います。

| 拠点名      | 所 在 地  | TEL          |
|----------|--|--------------|
| 札幌修理センター | 〒060-0034 札幌市中央区北4条東1-2-3 札幌フコク生命ビル10F エプソンサービス(株) | 011-219-2886 |
| 松本修理センター | 〒390-1243 松本市神林1563エプソンサービス(株)                     | 0263-86-7660 |
| 東京修理センター | 〒191-0012 東京都日野市日野347 エプソンサービス(株)                  | 042-584-8070 |
| 福岡修理センター | 〒812-0041 福岡市博多区吉塚8-5-75 初光流通センタービル3F エプソンサービス(株)  | 092-622-8922 |
| 沖縄修理センター | 〒900-0027 那覇市山下町5-21 沖縄通関社ビル2F エプソンサービス(株)         | 098-852-1420 |

【受付時間】月曜日~金曜日 9:00~17:30(祝日、弊社指定休日を除く)

\*予告なく住所・連絡先等が変更される場合がございますので、ご了承ください

\*修理について詳しくは、エプソンサービス(株)ホームページhttp://www.epson-service.co.jpでご確認ください。

ドアtoドアサービスに関するお問い合わせ先

ドアtoドアサービスとはお客様のご希望日に、ご指定の場所へ、指定業者が修理品をお引取りにお伺いし、修理完了後弊社からご自宅へ お届けするサービスです。\*梱包は業者が行います。

ドアtoドアサービス受付電話 0570-090-090(全国ナビダイヤル) 【受付時間】月~金曜日9:00~17:30(祝日、弊社指定休日を除く) \*ナビダイヤルはNTTコミュニケーションズ㈱の電話サービスの名称です。

\*新電電各社をご利用の場合は、「0570」をナビダイヤルとして正しく認識しない場合があります。ナビダイヤルが使用できるよう、ご契約の 新電電会社へご依頼ください。

\*携帯電話・PHS端末・CATVからはナビダイヤルをご利用いただけませんので、下記の電話番号へお問い合わせください。

| 受付拠点     | 引き取り地域      | TEL          | 受付拠点     | 引き取り地域   | TEL          |
|----------|-------------|--------------|----------|----------|--------------|
| 札幌修理センター | 北海道全域       | 011-219-2886 | 福岡修理センター | 中四国・九州全域 | 092-622-8922 |
| 松本修理センター | 本州(中国地方を除く) | 0263-86-9995 | 沖縄修理センター | 沖縄本島全域   | 098-852-1420 |

【受付時間】月曜日~金曜日9:00~17:30(祝日、弊社指定休日を除く)※松本修理センターは365日受付可。

\*平日の17:30~20:00および、土日、祝日、弊社指定休日の9:00~20:00の電話受付は0263-86-9995 (365日受付可)にて日通諏訪支店で 代行いたします。\*ドアtoドアサービスについて詳しくは、エプソンサービス(㈱ホームページhttp://www.epson-service.co.jpでご確認ください。

プロジェクターインフォメーションセンター 製品に関するご質問・ご相談に電話でお答えします。

0570-004110(全国ナビダイヤル) 【受付時間】月~金曜日9:00~20:00 土曜日10:00~17:00(祝日・弊社指定休日を除く)

- \*ナビダイヤルはNTTコミュニケーションズ(株)の電話サービスの名称です。
- \*携帯電話・PHS端末・CATVからはご利用いただけませんので、(0263) 54-5800までお電話ください。
- \*新電電各社をご利用の場合、「0570」をナビダイヤルとして正しく認識しない場合があります。ナビダイヤルが使用できるよう、ご契約の新電 電会社へご依頼ください。
- ショールーム \*詳細はホームページでもご確認いただけます。 http://www.i-love-epson.co.jp/square/

エプソンスクエア新宿

〒160-8324 東京都新宿区西新宿6-24-1 西新宿三井ビル1F 【開館時間】月曜日〜金曜日 9:30〜17:30(祝日、弊社指定休日を除く)

エプソンスクエア御堂筋

〒541-0047 大阪市中央区淡路町3-6-3 NMプラザ御堂筋1F 【開館時間】 月曜日〜金曜日 9:30~17:30(祝日、弊社指定休日を除く)

#### D MyEPSON

エプソン製品をご愛用の方も、お持ちでない方も、エプソンに興味をお持ちの方への会員制情報提供サービスです。お客様にピッタリの おすすめ最新情報をお届けしたり、プリンタをもっと楽しくお使いいただくお手伝いをします。製品購入後のユーザー登録もカンタンです。 さあ、今すぐアクセスして会員登録しよう。

インターネットでアクセス!

http://myepson.i-love-epson.co.jp/

カンタンな質問に答えて 会員登録。

●消耗品のご購入

お近くのEPSON商品取扱店及びエプソンOAサプライ株式会社 フリーダイヤル0120-251528 でお買い求めください。

エプソン販売 株式会社

〒160-8324 東京都新宿区西新宿6-24-1 西新宿三井ビル24階

セイコーエプソン株式会社 〒392-8502 長野県諏訪市大和3-3-5

72503002





PRINTED WITH